新京日日新聞
夕刊　一月十二日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓
廣告料金 普通 一行 一圓五十錢 特別 同 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一
發行人 十河榮忠　編輯人 和波薫　印刷人 水越内之介

阿部首相決意を表明

【東京國通】十二日の定例閣議開會に先立ち阿部首相は大久保の私邸に午前九時五分永井遞相、同九時廿分小原内相にそれぞれ來邸を求め政局一新の決意を固めるに至つた旨述べ要談を遂げた

"一新内閣"の首班に 近衛公最も有力
軍部側の要望強し

【東京國通】政局の更始一新はもはや時の問題となつたが、重臣、軍部方面では阿部内閣によつて支那新政權樹立問題に對するわが方の基本方策も決定し、事變は一時期を劃して正に飛躍的段階に入らんとする重大なる時に當つてゐるので、來るべき政局はこの重大時局を擔當收拾するに足る實力を第一條件とし國內諸問題處理に付いても强力な政治を要望してをり、事變遂行の第一次內閣首班者たる近衛公を繞つて湯淺內府原田熊雄男等の動きが活潑化して來たのもこの間の事情を裏書きするものと見られてゐる、これに對して近衛公は目下のところ事變處理の見地より軍部內の有力者又は國民生活安定に重點を置いて財界有力者をして政局の更始一新に當らしむべしとの意向を有し、重臣方面また同公のこの考へ方について一應考慮を拂つてゐるやうである、併し軍部方面は政局一新後の諸問題を解決すべき最適任者として近衛公に對する要望を捨てず專らこの方向に進んでゐる現狀で、政局一新の時期切迫に伴ひ近衛公を繞る政界上層部の往來は最も重視されるに至つた【寫眞は近衛公】

具體的措置は十四日か

【東京國通】阿部首相は政局一新の時期につき愼重考慮してゐるが、十二日の定例閣議席上或はその前後において閣僚に決意を表明諒解を求め、更に閣議散會後宮中の御都合を伺つて參內一般政務につき奏上、湯淺內府と會ひ政局一新に對する自己の決意を傳へ諒解を求めることゝなつた、しかして政府としては十三日樞密院本會議および同日午後の在野五黨首會合をもつて政府當面の事務的處理の一切を終へるので首相は同日五黨首會合直後或は十四日午前中臨時閣議を招集して右重大決意の具體的措置を決定するものとみられる

議會再開日延期されん

【東京國通】政局は愈よ近く更始一新を見る運びとなつたが、新政局に當る政府として再開議會に臨むに當つては豫算案を再檢討の上これが提出を圖るべく諸般の討議會準備に相當の日子を必要とする關係上到底來る廿二日の再開日までに間に合はぬやうであり議會再開日の繰下は當然免れぬ狀勢に立至つた、而してその際は政府としては第七十議會に於ける林內閣の例に倣ひ議會停會を奏請するか或は政府の意向を受けて議會自ら院議を以て休會するか右二樣の方法が考慮されるであらう、若し後者の場合は兩院は豫め各派交渉會の議を經て廿二日一應議會再開の上院議を以て休會する決議を行ふことゝなるべく而して右何れにせよ休會の期間は今のところ一週間內外と見られてゐる

戰火の歐洲より
(上)ドイツ戰鬪機機上の鷄のマスコットとドイツ海掃除隊の英機雷掃除作業

政友の二氏 近衛公を訪問

【東京國通】政友會中島派の前田米藏氏は十一日午前九時、同久原派の吉澤謙吉氏は同九時半荻窪の私邸に近衛公を訪問、政黨方面の動向に對する要望を傳達、政局一新の收拾策に關して進言を行ふ筈であるが近衛公を繞る政界の往來漸く頻繁の度を加へるに至つた今日兩氏の訪問は政黨人が同方面の要望を近衛公に始めて正式に傳へるものとして極めて重視される

勅選補充候補

【東京國通】政府は目下缺員中の勅選二名を補充することになり十二日定例閣議又は次の臨時閣議に於て決定することゝなつたが宮城法相、唐澤法制局長官が有力視されてゐる

新支那政權樹立へ 現地機關擧つて支援
わが基本方策に協力一致

【南京十二日發國通】新支那中央政權樹立に關し不動の決定を見た帝國の基本方策の主旨を現地實行機關に徹底せしむべく十一日南京に開催された現地興亞院連絡部長官會議は今後進展する新情勢に對應し中央、現地渾然一體となつて新中央政權樹立を支援すべき積極的態勢を整へた意味に於てその意義は頗る重大なるものがある、純正國民黨側とわが現地當局間の折衝に於ては將來の日支兩國國交調整の基礎となるべき事項たる近衛聲明の善隣友好、共同防共、經濟提携の三原則が現實的には如何に具現さるべきかの重要問題に觸れてをり基本的條項が必しも地域的特殊事情或は既定事實と一致せざる場合も生じ、これが調整のためには多少の迂餘曲折も免れなかつたのであるが、今回の會議に於ては柳川長官より汪氏の高邁なる眞意を懇切に敷衍して帝國の決定せる基本方策を各長官に傳達、其內容についても具體的に詳細なる說明を加ふるところあつたゝめ各連絡部首腦者も完全なる理解點に達し、現地興亞院連絡部はあげて新政府樹立に全幅的支持を與ふる方針を決定するに至つたかくて今後殘された問題としては純正國民黨指導のもとに支那側が自主的に中央政治會議の開催および新政府樹立を行ひ、これに對し帝國としては支援方針を實行すれば足りる譯で、待望の新政權もいよいよ誕生間近に迫つた譯である

柳川長官談

【南京十二日發國通】連絡部長官會議終了後柳川總務長官は十一日午後五時から南京ホテルで記者團と會見し次の如く語つた

去る一月六日の興亞院會議で汪精衛氏等の支那新中央政權樹立運動に關する具體的狀況を聽取りました帝國が新中央政權に對し力强い協力を與へる方針を決定せられたに付き興亞院として中央の方針を各連絡部長官に傳達するため今日當地に各連絡部長官の招集を求め必要なる協議を行つた次第である、各連絡部長官も充分中央の意のある所を諒とし一致協力して日支兩國民の期待に副ふべく努力することになつたわけである

なほ十二日の總司令部方面との協議を濟ませ同夜上海に赴き同地で各關係者と打合せを行ふ

印度總督の要請を拒絶
ネール氏反對聲明

【ボンベイ十一日發國通】インド政廳は今次戰爭に際しインドの英本國に對する協力確保のため種々努力しつゝありリンリスガウ總督は十日英本國のインドに對する目標は完全なる自治にある旨闡明して各派の一致協力を要請したが、これに對し國民會議派領袖ネール氏は十一日ガジアバット（デリー東方十キロ）において開催された國民會議派の集會において

インドの將來は總督乃至はこれを取卷く一派の手によつて定められるべきにあらずインド人自身の手でこれを決定すべきである

としてリンリスガウ總督の協力要請に反對の意を表明した

中崎、加藤兩氏赴任

滿鐵新京支社鐵道課營業係主任から牡鐵貨物係長に榮轉した中崎一之氏は十六日十二時五十四分の列車で赴任する、なほ同じく鐵道課營業係から華北交通に轉出した加藤編次氏は十三日午後一時四十分發あじあで赴任する

開拓國策の實を結ぶ
愈よ長期融資償還開始へ

毀譽褒貶の中に荊棘を切り拓く幾年、輝かしい新開拓國策の再出發を前に開拓團經營の效果を立證すべき長期融資資金の償還が開始される事となつた、長期資金に對する均等年賦償還を開始したのは集團開拓團にあつては第一次彌榮、第二次千振、集合開拓團では天理開拓組合で如上三組合は何れもその團建設のため借入れた金額に對して年賦償還を開始し、來る三月末迄に第一回を支拂ふのであるが此等の團に引續き第三次集團開拓團、康德二年乃至三年入植の大黑山等の集合開拓團が四月以降償還を開始せんとしてをり、開拓團の建設並にその經營收支の順調さを表してゐる、第一次第二次並に天理村における滿拓よりの融資額は現在左の如くであり滿拓の融資に對する償還は五ヶ年据置後固定資金については廿五ヶ年流動資金については十ヶ年、何れも年四分五厘の低利を以て均等年賦償還をすることとなつてをり、集合開拓團は特約を以て更に適宜償還し得ることとなつてゐる、融資總額左の如し（單位［圓］）

第一次彌榮村	
一般資金	六九〇、八九一
森林伐採資金	六二六、四五一
特殊資金	二六一、五七三
計	一、五七八、九一六
第二次千振	
一般資金	七七〇、〇〇〇
特殊資金	一二、四一三
計	七八二、四一三
天理村集合開拓團	
長期資金	三三、一〇四
その他	三三、五〇〇
計	六六、六〇四

右の中、第一次、第二次は三月末迄に第一回償還を行ふ事とし未だ支拂ひはないが、天理村は既に二回に亘り四千七百卅圓宛償還をしてをり、天理村は特約により償還方法を十二年間は年四千七百卅圓、以降十五年迄四千六百七十七圓四十九錢、十六年以降廿年迄年一千六百廿五圓宛支拂ひ、廿ヶ年を以て滿了となつてゐる、何れにしても斯の如く大陸開拓の大旆を掲げ入植した先驅者の勞苦は今や一面開拓國策の新展開と共に全く茲に結實したものと云ふべく、今後の開拓團に對する一指針を顯現するに至つたものである

總服役制最後案
いよいよ審議に入る

わが國國防國家體制の確立上劃期的制度を齎す人民總服役制度に關し政府は舊臘幹事會及び委員會を開催、幹事會で一應決定を見た

一、軍事援護要綱案並に軍事優遇要綱
一、國民指導要綱
一、兵役制度要綱
一、軍事援護機構擴充整備要綱

の諸案に關し種々審議檢討をなしたが、實施豫定期も明年度に切迫してゐることとて政府は右要綱案を始め審議未了部分たる豫算問題、公綜合所得稅設定問題、公役制度等を含めた人民總服役制度全般に亘る最後案を早急に決定する必要あるに鑑み、十五、六日頃國務院講堂において本年度初の一、人民總服役制度實施に關して兵役、公役、民籍國籍に關する打合會を開催し、今後累次開かれる幹事會、委員會の審議方針に付き打合をなすことゝなつたが、これにより愈よ人民總服役制度の本格的審議が軌道に乘せられるに至つた

敵空軍實力激減
十二月下旬以來五十五機擊滅

【上海十一日發國通】十一日午後四時左の如く支那方面艦隊報道部長談を發表した

十一月中旬北海方面上陸作戰以來陸海軍相協力して約二ヶ月に亘り多大の戰果をあげて來たことは累次發表せられた通りである、この間において海軍航空部隊は惡天候や熾烈なる地上砲火を冒して挺身敵陣地、敵密集部隊に對し低空爆擊、地上掃射を敢行して連日地上作戰に協力わが戰鬪を有利に展開せしめたのみならず或は長驅滇越鐵道に對する攻擊を反復して一鐵橋に對し致命的損害を與へ以て敵の重要なる軍需品補給路に一大障碍を生ぜしめ、或はまた桂林、柳州、蒙自等敵空軍據點に進攻して屢々果敢なる空中戰を決行し、南支方面に集中せる敵航空兵力に對し潰滅的打擊を與へたことはわが海軍航空部隊の武威を遺憾なく發揚したものと信ずる次第である、なほ十日桂林において行はれた空中戰鬪の結果から見るに、敵はわが銳鋒を避け攻擊精神に乏しくその戰鬪行動は終始消極的で遁退にのみ專念するが如き狀況を示し、敵空軍の實力が著しく低下したことを如實に物語つてゐる

十二月下旬以來の敵機擊滅狀況は左の通りである

一、十二月廿二日 柳州空中戰、擊滅機數＝三機
二、十二月廿七日 桂林空中戰、擊滅機數＝二機
三、十二月三十日 柳州空中戰、擊滅機數＝廿二機
四、十二月卅一日 柳州地上爆擊、五機
五、一月十日 桂林空中戰、擊滅機數＝十四機
六、同 桂林地上爆擊、九機
合計 五十五機

魯蘇地區の敵匪を掃滅

【濟南十二日發國通】事變第三年の新春を迎へ國民擧つて意義深い聖戰下に元旦の御屠蘇を祝つてゐるときわが○○部隊の精鋭は魯蘇各地に出沒する敵匪に對し元旦拂曉を期して一齊に肅清討伐を開始し各地において大殲滅戰を展開、左の如く多大の戰果を收め皇軍の士氣は益す昂揚しつゝある

一、岡田上等兵ほか○○名は一日拂曉津浦線黃河涯東南三キロにおいて潛伏せる土匪數十名を殲滅した
二、○○部隊術家鎭警備隊は一日夕刻有力なる便衣隊匪の來襲を邀擊これを擊滅した
三、○○部隊は一日第八路軍八百を朝專橋附近において捕捉擊滅した、敵屍五十、鹵獲小銃二十三
四、商河警備隊は一日午前五時季家庄附近において殘敵三百を急襲殲滅した
五、德平警備隊は一日午前一時廿分殷家にあり約五十を攻擊、潰走せしめた、鹵獲＝小銃六、彈藥多數
六、寄城高園附近の各警備隊は一日午前三時卅分を期し大盧集附近の約四百の殘敵を急襲し、遺棄屍二十六、捕虜四、多數の鹵獲品を得た
七、○○部隊店子分遣隊馬場伍長以下○○名は一日未明大吾王陽において敵八十と遭遇、寡兵をもつて奮戰、これを擊滅した敵遺棄屍三十一、捕虜十二、鹵獲品＝小銃七、自動小銃一〇

國共衝突の報道を禁止

【香港十二日發國通】國共兩黨間の紛爭は舊臘中屢々繰返され殊に七日山西に於ける衝突では八路軍と中央軍間で大砲の射ち合ひを演ずる等兩者の紛擾は今後激化するに鑑み重慶政府は僞山東省主席沈鴻烈、僞山西省主席閻錫山及び新に僞河北省主席に任命された鹿炳勛に急電を發して即刻紛爭を鎭定するやう命令を發すると共に事件の眞相の報道を禁止してゐるが、眞相隱蔽せんとする重慶政府の苦心にも拘はらず國共兩軍の衝突の眞相は外人重慶特派員を始め各方面に知れ亘るに至つた

人事往來

着京

▲小野田文助氏（貿易商）十二日來京サクラホテル
▲中山茂正氏（岡組）三國ホテル
▲佐藤四郎氏（穀物商）同
▲能勢博士氏（三井物産新京支店）同
▲近藤繁二氏（近藤林業公司）同
▲太田外世雄氏（商業）フジヤホテル
▲吉澤滿太郎氏（鑛業）同
▲中山正三郎氏（昭和製鋼理事）滿蒙ホテル
▲齋藤利吉氏（昭和製鋼課長）同
▲岡崎直嘉氏（安東輕金屬）同
▲佐久間寛氏（日清製鋼重役）同
▲柴田研三氏（滿日新京支局長）同
▲李倉用（京城高麗映畫社長）同
▲高橋勇造氏（官吏）蓬萊ホテル
▲東ヶ崎長雄氏（同）同
▲小田切博雄氏（同）同

出發

▲茅野卓雄氏（會社員）ハルビンへ
▲滿畑信次氏（同）同
▲永井辰之助氏（土建）大連へ
▲石田繁氏（岡田組）奉天へ
▲宮島久吾氏（金物商）清津へ
▲馬場緊市氏（火藥商）牡丹江へ
▲河合義一氏（延吉商工公會常務理事）延吉へ
▲山口米藏氏（撫順窯業株式會社）撫順へ
▲川口英二氏（三井物産社員）奉天へ
▲岩野一次郎氏（三井物産）奉天へ
▲財間繁氏（會社員）牡丹江へ
▲清水秀夫氏（奉天商工公會）奉天へ
▲山田金五氏（會社員）北京へ

その日く

◈政局一新の具體的措置は明日か明後日とある、そこまでには相當にもめた
◈不分明であつたものも漸次明瞭になつて來たやうではある
◈須らく前進せよ、既往を乘り超えて眞に有力な國民的なものへ向つて
◈舊いものが退いて淸新なものが代る、率直な歷史進展の法則だ
◈この頃のあれこれで、おち／＼相撲も見れぬのも仕方あるまい

滿鮮對抗競技へ 滿洲代表出發

第二回滿鮮對抗綜合競技多季大會の滿洲代表として輝かしき榮譽を擔ふ親善スポーツ使節團は十二日午後二時奉天に落合ひ同驛に於て結團式を擧行したが、新京より團長富田直次氏以下副團長鈴木良德、調査員馬場光雄、總監督河村秦男の諸氏並に選手安達和男、內藤晋、富田勇中村公正、大倉惠美子の五名は十二日午前九時半新京驛發はとで奉天へ向つた

最後の捜査へ!
逮捕か迷宮入りか
解決の岐路けふ一日
三笠町殺人強盗事件

粉雪降りしきる十二日朝三笠町殺人強盗捜査本部からそれ〳〵指令を受けて八方に飛ぶ捜査班員の顔色に一段の緊張漂ひさつと出て行く足音にも一段の慌しさを感ぜしめる、發生後七日目けふ一日をもつて捜査布陣の第一期を終るがそれとゝもに捜査有望か迷宮入りかの重大岐路に立つことゝて今や追及の手は最も有力な某方面に集中されてゐるもの如く、その報告如何によつて捜査本部の肚を決するのではないかとみられてゐる

こゝにも足御難
苛立つ捜査本部

十二日朝捜査本部では捜査第一期最後の日でもあるので主力を某方面に集中すべく粉雪もいのかは勇躍出勤せんとしてハタと行詰つてしまつた、肝心要めの足がないのだ、本廳、中央通署の車輛は何れも使用中とありそれでは市中のものを借りろとばかりに朝からトラック調達に本部員大童の活動でやつと十一時過ぎ一臺を調達出動したが、本部では一刻を爭ふ捜査出動に本部に一臺も車輛設備がないとは全くもつて捜査に至難さを加へるもので、今後は捜査本部に若干の車輛常置が絕對必要だと語つてゐる

馬泥棒捕る

十一日午後近接部落大屯警察署に三笠町殺人強盗についで起つた南新京郊外二人組拳銃強盗犯人らしき三人連れが逮捕されたとの報を得た捜査本部では直ちに眞相調査のため捜査班をトラックで大屯へ急行せしめたが、十二日朝その報告によれば、馬車強盗犯人とは全然關係なく馬泥棒專門の竊盜犯なること判り、折角固唾を呑んで意氣込んだ捜査本部を又復ガッカリさせた

記者入門(滿系第二次考査)

滿系記者養成のため國通では今年度から滿系記者養成機關を設置することゝなり廣く滿系インテリ層に呼びかけたが、多數應募者の中から出身學校長の成績證明、語學實力を中心として嚴重審査の結果廿七名を選拔、十二日午前九時半から國通本社會議室に於て第二次銓衡試驗を執行、學課試驗(日語、滿語)に引續き口答試問、體格檢査を行つた、なほ第一次採用豫定は十名で十八日合格者を發表、一ケ年に亘る訓練のゝち操觚界におくることゝなつてゐる

市民氷滑大會(第二回)
二十一日兒玉公園で擧行

第二回市民スケート大會は來る廿一日午前十一時から兒玉公園で全滿スケート・デー式典後開催されるが要項は次の如くである

▼滑走(スピード)男子=五百米、千五百米、千六百米繼走、女子=五百米、千米、千六百米繼走
▼氷球(ホッケー)一般對學生試合
▼型滑 選手の部、一般の部
▼表彰 滑走、型滑は三等迄入賞とす、氷球は優勝團體のみ入賞とす

なほこのほかスプンレース、寶探レース、お宮詣り競走、百四十才競走、家族繼走、百足レース、バック・レース等市民がこの一日を戶外の氷の上で樂しく過せる家庭的な催しが行はれる

御遺骨着京
西廣場俱樂部安置
午後九時廿分から慰靈祭

新東亞建設の尊い人柱として護國の華と散つた盡忠の英靈〇〇柱のお遺骨は十二日午後二時十分吉林方面より、同じく午後三時十分哈爾濱方面より全市民自粛哀悼の中を市代表、皇軍、國軍、政府並に各機關代表、郷軍、協和會、國防婦人會各團體、各學校、一般市民等の出迎を受け靜粛裡に新京驛に到着、ブラスバンドの奏する「國の鎮め」も悲しく、弔旗低くたれた沿道市民の敬虔な默禱の裡に粛粛たる歩を驛前から敷島通に進め西廣場社員俱樂部に安置されたが引續き同夜午後九時より厳かに慰靈祭が執行され夜はしめやかな御通夜が執り行はれる、一方市內ではダンスホール、料理店、カフエー其他の飲食店では歌舞音曲を停止して自粛哀悼の一夜を明す事になつてゐるが、慰靈祭に不參加の市民は各家庭或はその他の場所に於て午後九時二十分より三十秒間心から默禱を捧げることが要望されてゐる、なほ御遺骨は十三日午前九時四十分安置所を出發無言の凱旋の途に就く

觀光協會理事會

新京觀光協會では本年度も大々的に國都を全世界に紹介すべく鋭意その具體的プランを急いでゐるが本月末理事會を開催してその最後的決定を見る筈である

古田氏寄附

昨年九月逝去した前滿洲國參議古田稻夫氏は今般亡父の遺志に依り滿洲軍人後援會へ五百圓、滿洲國赤十字社へ三百圓、法寶會へ二百圓を寄附した

良質文化團體にも
補助金等を交附
積極的指導へ民生部本腰乘出し

生產擴充より民生の擴充へ時代の脚光あびて華々しくスタートした民生部では舊臘既に發表せる如く教學の振作、國內勞務者の厚生等につき本部機能を改革、これを擴大強化すべく根本方針を確立したが、更にこれと同時に國內文化の全面的指導培養に乘り出すことゝなり

一、從來の國內各文化團體組織のうち良質のものには補助金等を交附してこれが培養を圖ると共に強權的ならざる指導統制組織を確立し、良質ならざるものについては今のうちにある程度これを制限抑止する

二、日滿一德一心の見地より滿洲新文化の創造を期し日本より先進文化を輸入すべく必要なる人材を積極的に誘致する

なほ既設の大學專門學校は官制を改正して擴大強化し新たに設立される哈爾濱工業大學、新京畜產、獸醫大學、北滿農業大學、佳木斯醫科大學等の官制も大體この程起草を終つたので近く民生部より國務院會議に提出され正式決定をみる模樣である

事業部等を新設
建國教育に拍車
教育會の本年度新規事業

建國教育に一大紀元を劃せんとする文教十ケ年計畫に呼應して劃期的擴充計畫案を樹立した滿洲帝國教育會の新年度事業は教務研究部を強化して新たに事業部を新設したほか編輯部を出版部と改名するなど全面的機構の擴充を行ふ一方教育會の組織強化その他多彩な新規事業を遂行し以て從來の出版、文書運動程度の消極的運動から有機的教育團體として積極的活動に乘り出すことになり十八日午後七時から中銀俱樂部に初幹事會を開催、次の新年度事業計畫案を協議することゝなつた

△事業部 1省、市、縣、旗教育會の活動に對する指導助長に關する件(地方教育會組織の強化、教科用圖書の配給事務整備)2會員の研究獎勵に關する件(研究論文の懸賞募集、展覽會の開催、講習會講演會の開催)3會員の視察旅行に關する件(從來の訪日旅行に支那視察を加へる)4殉職殉難職員並に學生の記錄調査及び殉難誌の編纂

△出版部 1出版部の擴充強化に關する件2編輯係り事業計畫(諸雜誌の新編輯計畫)3出版係事業計畫に關する件(出版物の宣傳販賣、圖書發送方法の改善)その他

世界記録へ
滿洲代表から蕾電

第十一回日本スピード選手權大會に出場の滿洲代表選手大澤監督以下男子、片昌男、牛島義雄、朴潤哲、女子汾陽泰子、木村芳子の五名は十一日午前六時十分青森縣八戶に無事到着した旨大滿洲帝國氷上競技協會宛左の如き電報があつた

豫定通り安着す、一同極めて平靜、世界記録目指して(滿洲選手)

神宮制覇へ
張切る滿洲氷上陣

大滿洲帝國體育聯盟では第十回明治神宮國民體育大會多季大會滿洲派遣團を次の如く夫々決定し規定の手續きを了して發表した

▽本部役員 團長 富田直次▲總務=委員長=齋藤肇吉、委員=大重登、河村秦男、宍戸熏、清水正人、大澤義一、小須田孝吉

▽滑氷▲男子滑走 監督=石原省三▲選手=安達和男(主將)片昌男、牛島義男、朴潤哲、橋本清、松元茂、山本宏之、內藤晋、川口芳樹、木谷清、三代正勝、富田勝久▲女子滑走 監督=岩田美代子▲選手=江島八重子(主將)汾陽泰子、繩手滿喜子、山本幸枝、大倉惠美子、木村芳子、三ケ尻照子、小野寺恭子

▽氷球 監督=中島桂介▲選手=栗矢勉(主將)百東正雄、吉松恒滿、松浦滿、伊藤直也、松本勝次、女池賢夫、齋藤繁樹、吉武博、大西貞夫、中瑜鎮、井手弘

▽型滑 監督=谷戸通熈▲男子選手=田中正雄▲女子選手=原田チエ

▽スキー 監督=田村節郎▲選手=佐藤岩太郎、山田直藏

氷上代表一部變更

大滿洲帝國氷上協會では來る十四日擧行される滿鮮對抗氷上代表中の型滑選手高森薫(大連)を柳繁(新京)に變更した

グ駐滿獨武官着京

駐滿獨逸公使館付武官グロナウ大佐は十二日午前十一時四十二分新京驛着、獨逸公使及び關係者多數の出迎を受け新任挨拶のため來京した【寫眞は向つて右出迎の駐滿獨逸大使左グ新任武官】

あすの歴史

▲漢織呉織の工女來りて始めて錦を織る(雄略帝十四年)
▲ハンガリー防共協定參加聲明(昭和十四年)

踊つてゐる間に

日本橋通三七劇宗安兵衛方富田こしえ(二三)さんは十一日午後十時五十分頃日本橋通一六モデルンへダンスに行つての歸途、前帶に挾んで置いた二百圓在中の二ツ折財布を落したのに氣付き驚いて中央通署へ屆け出た

ラヂオ行進曲
電々放送部で選定

新たなる飛躍を期して康德七年を迎へた滿洲國放送界の躍進を大衆とゝもに唱和すべく滿洲電々放送部では今回「滿洲ラヂオ行進曲」を選定、これを全滿はもとより全世界のラヂオファンに愛唱して貰はうと流行歌謠作家久保田宵二氏に依囑作詩中であるが、作詩完了をまつて日本の一流作曲家により作曲の上盛大な發表會を開催の豫定である

軍需學校卒業式

陸軍軍需學校では來る十五日午前十時半から侍從武官臨場の下に第七期滿系軍需候補生の卒業式を左の式次により擧行する

十時三十分侍從武官奉迎、同三十五分狀況報告、同五十分劍術供覽、十一時四十分卒業講演、同四十分卒業證書授與、十二時二十分祝宴、午後一時侍從武官奉送、閉式

柏村次長歸任

當面の經濟諸問題につき舊臘來東上中であつた柏村產業部次長は十三日午後九時四十五分新京驛着ひかりで歸任する

御褒美に
橿原盛典へ參列
初等教員研究論文審査開始

皇紀二千六百年の奉祝記念事業として駐滿日本大使館教務部では邦人學童の書道展覽會とゝもに邦人教師の記念研究と記念論文を募集し舊臘末をもつて締切つたが應募點數は研究六十六點、論文三十六點で十三日から今吉教務部長が委員長となり、審査を行ひ入選者四名を決定、二月中旬發表し、入選者には橿原神宮における記念式典に參列のうへ日本各地を觀察させることになつた

二千六百年へ
新活動を展開
首都本部具體案を急ぐ

輝く世紀の年、紀元二千六百年を迎へ興亞聖業の樞軸據點たる滿洲國は日滿一德一心の大義に則り愈よ建國精神を明徵顯揚し、これを根本基調として民生の安定向上に努力以て國防國家體制の確立に一段の邁進を目指しつゝあり、延いて協和會の使命益す重大なるを痛感されてゐる折柄、國家活動の中樞地點にある協和會首都本部では意義一入深きこの年、即ち康德七年度の根本方針たる會活動要綱について彌來各部內に於て愼重考究、成案を急ぎつゝあるが、來る二十日ごろ部內會議を開催の上取纏め次いで二十五日午後二時から本部會議室に於て本年度第一回委員會を開催最後的決定を見ることゝなり、その成果を期待されてゐる、尚本年度の實踐項目の大要は次の如くである

一、八紘一宇日滿一德一心の本義を明徵顯揚し新東亞建設の使命自覺を徹底す(1)皇紀二千六百年慶祝事業を通じ日滿一德一心の本義を徹底す(2)官公吏會社員等の時局の認識並に國策に參與する重要地位にあることの自覺に基く協和精神の徹底を期す

二、各民族間の民族的偏見並に摩擦を除去し以て民族協和の實現に邁進す(1)各民族青年層の共同團結を促進す(2)日常生活に於ける親密性を增大し各民族の相互理解を促進す(3)民地買收に伴ふ摩擦の彈力的運營に努む

三、經濟統制の合理化を促進し協和經濟體制の編成確立に邁進す(1)日常生活必需品並に住宅の物價高騰を抑制すると共に配給合理化を促進す(2)富家強國運動を徹底し低物價政策に對する能動的翼賛を徹底す

四、道義に基礎を置きたる公正明朗なる官民一途の協和治政の確立を期す(1)分會並に本部の日常不斷の宣德達情を徹底す(2)聯合協議會を整備充實す(3)本部委員會の政治的指導機能を活潑にす

五、分會、義勇奉公隊、青少年團を基礎とする會組織の一元的綜合的擴充強化を圖り國民たる動員態勢の確立を期す(1)分會、奉公隊、青少年團組織の擴充強化(2)訓練指導機構を整備し奉公隊青年團活動を中心とする國民防衛力の強化を圖る(3)國民勤勞奉賛活動を展開す(4)銃後後援運動を徹底す

大相撲取組 三日目

【東京國通】大相撲三日目中入後取組

(源氏山)小島川(九ケ錦
(神東山)藤ノ里(倭岩
(桂川)小松山(松浦潟
(大和錦)四海波(駒ノ里
(鯱ノ里)幡瀬川(鶴ケ嶺
(一ノ渡)出羽花(櫻錦
(富士嶽)磐石(大潮
(鹿島洋)大邱山(相模川
(旭川)佐賀花(大浪
(両國)笠置山(五ツ島
(栃甲)青葉山(玉ノ海
(龍王山)綾昇(綾若
(金湊)名寄岩(照國
(安藝海)出羽湊(前田山
(羽黒山)巴潟(双葉山
(松ノ里)男女川(肥州山

あす(十三日)

△鑛業開發會議 於中銀クラブ午後二時より
△產業部農務司農事合作社會議 於國防會館午前九時より
△ひのもと中心會會議 於國防會館午後一時半より
△滿洲文話會現地派遣員視察報告會 於大興ビル三階滿日文化協會午後二時より

今晩の放送

▲七・三〇(東京)國民歌謠「船出の歌」▲七・四〇(南京)「支那の正月」を語る「南京特別市秘書長孫淑榮」▲八・〇〇(東京)管絃樂「交響曲第二番ニ長調作品一」日本放送交響樂團▲八・四〇(大阪)「ラヂオ風景」松井茂男▲九・一〇(東京)時事解說

どうなる
本年度の映畫演劇界展望
滿映理事　根岸寛一

十六ミリ映畫がその特性を買はれて、滿洲國の映畫政策上重大な地位を占むるに至つてゐる今日、此の部門に於ける滿映の用意も略本筋に入つて來た、これへの期待も安心して可なりである。

映畫興行界を見渡すに於ては國情に應じた運營方法が實現しつゝある事情からしてこれが觀客奉仕への途が一層充實される事も今年は期待されていゝと思ふ、總じて康德七年に於け映畫界は六年度とは一年の違ひでは無く劃期的な發展が考へられ、希望を以て展望されることを喜ぶのである。

□　□

次に演劇界を一瞥すれば滿洲國建國精神に則る大同劇團、協和劇團等の研究劇團が漸く軌道に乘つて來たと信ずべき點が顯著になつてゐる、之等所謂話劇の分野が伸び惱む問題を順次解消しつゝある事は假りに遲遲たりし過去を持つとしても、今年度の進展は期待掛けられるものを持つと信じて居る、北京乃至は湖北方面より滿洲國内に興行して居る例の京劇は依然として根強い魅力を持つて居る上にその團體の理事長格の劉恩格氏が熱心な支援を續けて居り、今年度の活躍も想像に難くない。

日本から來る演劇團乃至演藝團は昨年度に於ては實に華やかな賑はひを見せて居たが今年度亦、大陸を目指して續々と渡來することは勿論であらう。

そして目下滿洲國内に於て計畫されて居る或る種の組織體が恐らく今年度はその形態を整へるものと考へられるので、その曉には一般觀客に與へ得る娯樂面は充實され、所謂インチキ物の跋扈するやうな事はなくなるものと思ふ。

□　□

日滿共にその觀客の立場から言ふと、より良き演劇演藝に親しめると言ふものである、映畫と演劇との交錯に依る新事象と言ふのは映畫館に於けるアトラクションに於いて從來と異つた雰圍氣が形成されるであらうと言ふ一つの期待がある、それと映畫演技の上に舞臺演技即ち一般劇團方面からの新空氣、新手法が注入されるであらうと言ふ希望を濃厚に持ち得ることである。

つまり京劇に於ける優秀俳優の映畫進出と言ふことが考へられるのである、これは映畫の上にも演劇の上にも相當興味のある變化を與へ兩部門へ新鮮味を盛ることは考へ易い道理で、これは樂しみに待たれることの一つである。

以上映畫演劇の兩部門に亘つて康德七年度の展望は希望に滿ちて居ると言へるわけである。＝完＝【寫眞は筆者】

一刀筆

自肅自戒の國策強調に可なりたゝかれて來た國都カフエー街も師走はボーナス景氣の猖でまづ／＼の成績を上げ懐中も温めてホク／＼の初春を迎へた、そして松の内五日間も無難に過したがファンも飲みつかれたのか或は興亞國民として國策線に沿はんとする自覺に基いてなのかとんと客足を減少してしまつた、殊に二、八月はこの業界の鬼門の月とされてをりこゝ暫くは業界受難時代を現出するのではないかと業者は今から頭を惱ましてゐる、尤もかうした折にこそ勇敢に飛込むファンは持てること請合ひである▼話題の主ミス東洋の雲井、人見の姉妹についても警察當局は女給として斷然許可しないと報せられ、ふりかゝつた噂を一掃しようと悲痛な決心を抱いて再度渡滿した姉妹を身も世もなく悲しませたのであつたが舊臘一切の事情が氷解されて女給許可證が下り姉妹はやつと晴れ／＼とした氣持に返つた「やつぱり歸つてよかつたわ、まじめに、元氣で…」と姉妹は固く誓つた、そして思ひ出のホールで相變らずの人氣を集中してゐる、時は春、いや目出度いことではある▼こゝの千鳥君その昔京の先斗町に左褄をとり清艶な姿を謳はれ今尚昔の面影を止めミス東洋ファンからさわがれてゐた千鳥君、昨年の十月頃風の如く姿を消して以來音づれもなく杳として不明ファンを痛く失望させたが、舊臘忽然と姿を現して曰く京に歸つたと言ふのである、ともあれミスの千鳥は再び歸つたのである、ファンに報告する

▽空想部落△ 南旺映畫、尾崎士郎の原作により八田尚之が脚色、千葉泰樹が演出に當つた南旺第一回作品、新築地の千田是也、薄田研二、新協の三島雅雄、赤木蘭子等劇團からの主演者を得、關東大震災前後を背景に貧しい高い理想目指して生き抜かうとする六人の藝術家グループの交流を描く、昨年末封切豫定であつたものが新年へ持越されたもの、帝都キネマ十二日より

滿映製作部現況

＝劇映畫＝
△山ノ内組「黎明曙光」錄音中
△水ケ江組「金魔王」（假題）撮影準備中
△荒牧組「新舊岐途」撮影準備中

＝文化映畫＝
△新田組「聯合協議會」整理中
△新田組「全聯」近日完成
△大谷組「我們的軍隊」撮影完了
△新田組「建國杖道」撮影中
△石野組「映畫大觀（林業篇）」撮影中
△田中組「安東土地委員會」撮影中
△森組「治水南滿運河」撮影中
△上砂組「躍進吉林省」整理中
△上砂組「寒氣と闘へ」撮影準備中
△高原組「冬の滿洲」北滿ロケ中
△津田組「滿洲月ごよみ」撮影準備中
△早川組「訪歐使節團」近日完成
△高原組「ボクド、オーラ」整理中

雜音

帝都キネマ上映の「南の誘惑」鳴物入りの賑かな登場であるが決して高く評價さるべきものでない、先づ監督技術のたど／＼しさクライマックスへ持つてくるまでに寄り道ばかりしてゐる間延びした退屈▼熱帶の感じも滲まず別に南の誘惑も感じない、それに助演者陣の平凡▼結局何が殘るか？それはたゞツアラレアンダーのみ、但し慧星の如く出現したと言はれる程の魅力もなく、例によつて例の如き獨逸好みの女性が畫面一杯に横行してゐるだけなのである▼で殘る魅惑は彼女の歌のみにある、彼女が「ハバネラ」を歌ふシーンのみの爲にこの映畫は存在するのである、殊にその低唱部分の素晴らしさ！原名「ハバネラ」とはいみじくも名附けしかな

近藤勇

橋爪彥七

西正世志畫

（百十一）

蛤御門の戰（五）

玉座に遠く。

有栖川宮が、

『王道とは、徒らに武家を苦しめ、みだりに一方の武家のみ憎しんだり隔てたりするものではないいたとへ長州に罪ありとしても、その罪を悔ひて、御勘氣に赦免を願ひ出てをる以上、君側の人々は、よくこの情を詳にして、糺するものは糺し赦すべきは赦さぬと、王政の復古がおくれるもとぢや、四海四民が王政を謳歌して弓矢、袋に納つて、悲聲を聞かず――と、こゝまで御威光の行渡らぬやうでは所詮……』

中川宮が、

『然し、長賊は――』

云はれようとすると、有栖川宮が、

『あいや、長賊とは何か、長賊とは――』

詰めよられるのを、二條關白が手をあげて押しとゞめて、

『御論議に、御言葉とがめは――いたづらに、枝葉の問題を仰せられずに――』

『既に、長州父子は、兵を率ゐて上洛の途にありと聞く。苟くも、勅勘を蒙り、愼みおそれ畏むべき身が、兵杖を動かすなど言語道斷の儀と思ふが』

から云つて、中川宮は一座を見渡された。

近衞內大臣が、側から、

『昨今の情勢は、最早や、長州を許せぬものがある。彼の福原と云ひ、國司と云ひ、兵を洛中洛外に容れて幾回退散を命じてもいささかも退陣せぬ。上を輕んずる非道非義、長州御勘氣赦免など存じも寄らぬ！』

頭を蒼白にして、有栖川宮を見詰めると、宮家が、

『默られい內府！』

と、嚴然たる御聲で、

『長州の藩士どもが兵を散ぜぬのは、御勘氣が赦免にならぬからぢやぞ。自體、長州父子になにほどの咎めがあつてぢや』

すると、中川宮が、

『こは、異なことを承はる躬は長州の――』

と、何か仰せられようとしたとき、轟然！一發の砲聲が轟いた

『素破！』

德大寺右大臣が、席を起たうとした。

この時だつた。

『これまで！』

と、烈しい中川宮の御聲が響いて、

『長州勢の宮闕侵擊と認める。論議取り止めッ』

愕然となつたのは、大炊御門大納言はじめ、その他長州づきの公卿達であつた

其處へ、慌たゞしく、舍人が入つて來て、下座に平伏すると、

『申上げます。只今伏見街道を長州勢進擊にござります』

『よし』

中川宮は、すぐ座を立たれた。

『會津侯、こちらへ』

聲をかけておかれて、別間に入られる。續いて、松平容保が御後をしたつた。

座はもう四離滅裂となつた。

有栖川宮御父子を擁して長州宰相父子を勅勘から赦されるやうと謀つた密謀はこゝに完全に破れてしまつたのであつた。

なんぞ知らん、此謀こそは、桂小五郎が因州藩の堀小次郎と謀りに謀つたことであつたのだが、中川宮は烱眼早くもこの計策を見破つてをられたのである

聽て、病軀を無理に參內してゐた松平容保が、一層その顏を蒼白くして、一室から出て來た。

つか／＼と行つて、舍人を見つけると、

『はゞかりながら、某の家人をお呼び下されい』

さう云つて入側の口に佇んだ。眼が燃えるやうだつたし、きつと嚙みしめてゐる唇が、破れさうだつた。

商況 十二日前場

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	一六八志〇〇
倫敦銀塊	二三片四分一
同先物	二二片四分一
紐育金塊	三五弗〇〇
同銀塊	三四仙四分三

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	三弗九五仙四分一
米日爲替	二七弗四七仙
米支爲替	八弗〇五仙
英米爲替	
英日爲替	一志二片三分一
英支爲替	五片一六分一
英佛爲替	一七六法郎〇〇
英獨爲替	四〇馬克二〇

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	六二弗〇〇
アナゴンダ	二八弗二分一

▲紐育棉花

限月	相場
現物	一一仙二六
一月限	一一仙〇七
三月限	一〇仙九八
五月限	一〇仙七三
七月限	一〇仙三三
十月限	
十二月限	

▲印棉

品目	相場
ブローチ	一三〇七留比二分一
オームラ	一二七〇留比二分一
ベンゴール	一二九留比二分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一四九〇	一四八八
大新	七〇〇	七一〇
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

銘柄	前場	後場
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期）

銘柄	前場	後場
[illegible]	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿布

限月	前場	後場
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]

▲東京人絹

限月	前場	後場
當限	—	—

▲大阪棉花

限月	前場	後場
一月限	[illegible]	—
二月限	[illegible]	—
三月限	—	—
四月限	八二三〇	八二三五
五月限	八四七〇	八四六五
六月限	八六九一	八六七五
七月限	八八九〇	八八四〇

▲大阪期米

限月	前場	後場
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

▲大阪人絹

限月	前場	後場
當限	—	—
五月限	—	—
六月限	—	—
七月限	—	—

▲橫濱生糸

限月	前場	後場
一月限	[illegible]	—
二月限	[illegible]	—
三月限	[illegible]	—
四月限	[illegible]	—
五月限	[illegible]	—
六月限	[illegible]	—
月物	[illegible]	—

土曜　乙卯　佛滅　滿　女宿

東京・本鄕・神誠館

●一白の人　外に出で辛勞するより內に在が利得の日　坤と西と艮が吉

●二黑の人　行違ひ爭ひの生じ易き日　普請旅行何れも凶　坤と丙と庚が吉

●三碧の人　辛抱甲斐の現れ來る日　名弘開店慶儀皆吉　艮と巽と壬が吉

●四綠の人　諸事順調に進む但し外に在ては失物を注意　西と巽と壬が吉

●五黃の人　聲のみ大にして實形の見止め難き日　萬注意　巽と丑と東が吉

●六白の人　種を蒔き置けば他日萬倍の收穫となるべし　東と乾と坤が吉

●七赤の人　午前は吉なれども午後は凶に走り易し注意　東と乾と壬が吉

●八白の人　疑ひ深き時は好機を失することあり進取吉　巽と乾と坤が吉

●九紫の人　吉にも凶にも齣れ易き日常業を守るが安全　西と艮と乙が吉

大正九年十一月十四日 第三種郵便物認可
康德七年（昭和十五年）一月十三日 新京日日新聞 （土曜日） 第六千百十一號 （一）

新京日日新聞

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 ／ 廣告料 一行一圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 和波禁
印刷人 水越内之介

三寒四温

「經濟はあくまで經濟である、經濟と倫理道德とを一緒にして、今日の經濟上の諸問題を道德論で解決しようといふことは無理である、贊成できない」といふやうなことを、先夜松平前農相が演説してゐたが、それはいはゆる上層階級とか、現狀維持派とかいはれる人々の思想を代表したものであらう▼「とにかく事變さへ何とか片がつけば、またもとの自由主義的ならくな時代にもどるだらう」といふのが、これらの人々の根本觀念なのだ▼だが少しは考へてみるがよい▼今度の事變は一たい何を目的としてゐるのか、近衞聲明は何といつてゐるか▼領土的野心なく、賠償金を要求せず、たゞ東亞に新秩序を確立し、いはゆる善隣友好、共同防共、經濟提携だけを願ふといふのが、この事變處理の目的ではないか▼新秩序は支那だけのことではなくて、日本自體も舊態を改めなければならないことは何度もいふ通りだ▼また具體的に三原則を貫くことも日本の社會、經濟、政治を革新し、國民の再編成——眞に一君萬民の國體の本義にもとづいた新組織をつくるのでなければ、斷じてできつこはないのだ▼しかるに現狀維持者流は、支那事變の處理は處理で、國内の革新はしないやうにと欲するのだ▼それではそも〳〵何のためのこの聖戰であるか▼だが現狀維持派がどんな工夫をしようと、歷史を逆流させることはできない▼國民は有史以來はじめて、全國民的に、國體を明認したのだ、身をもつて眞理日本の國體を知り、感じ、生きたのだ▼いつまでたつても舊態依然たる上層階級、「政治家（？）」連中などにはおかまひなしに、世界の新秩序の基礎としての眞理日本の新秩序建設の方向へつき進んでゆくだらう▼もちろんそれは時間的にも、方法的にも容易なことではない▼おそらくいろいろな困難や、障碍があるだらう▼しかし、困難が大きければ大きいほど、ほんたうの日本國民組織が出來上るだらう▼何故ならば、今や日本は、上御一人をたのみまゐらせて、全國民がほんたうに組織され團結する以外に、この難局をきりぬけ、新生命の展開飛躍をする途がないからだ▼この新らしい、建國以來はじめての、眞の一君萬民組織が、どの部面から、どういふ方式で生れるかは、いま豫言することはできないが、それは國民のうちの眞に生産し、眞に國防の第一線に立つ、ほんたうの意味における國家の柱石たる一般國民の組織でなければならぬし、またさうあるだらうといふことだけは、いへるだらう▼有り難いことには、日本國民は、この一番大切な、一番多い國民大衆が、一番健全であり、勇氣があり、聰明であり、有能なのだ▼上層部や、指導階級や、權威組織が、時代後れになつたり、腐敗したり無力化しても、二千六百年の國體の中心生命たる上皇室のいやさかえますとともに、下萬民は愈よ健かにかつ誠忠無比なのだ▼政黨の榮枯、官僚の盛衰などは、國運の全體からいつて問題ではない▼しかしながら、今日の時局において、大任を負つてゐる最高指導者とか、上層部とか、權力組織の相當者とかいふ地位にある者たちは、どうしてもつと眞劍にまじめにならないのか▼口で立派なこと高尚なことを、空念佛のやうに唱へるだけでなく、身をもつて行はないのか▼今日の指導者達の病根は、無反省なのか、無氣力なのか無恥無誠意なのか、或は無智なすところを知らないのか▼今日爲すべきことは市井の平凡人といへども知つてゐる▼知らざるに非ず、行はざるなり、行ふの勇氣と誠意とを缺くなりと斷ずるのは誤りであらうか

超强力の擧國一致態勢へ

新局面に急展開

十四日臨時閣議招集

阿部首相決意奏上を轉機

【東京國通】阿部首相は政局一新に關し具體的手續をとるため十四日午前九時首相官邸に臨時閣議を招集して全閣僚の出席を求め、席上改めて首相としての決意を披瀝して全閣僚の同意を求め一旦閣議を休憩して首相は宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付られ、政局一新に關し内閣首班としての決意を奏上することになつた、よつて政局はこれを機として急展開を示し湯淺内府は同日中にも興津の坐漁莊に元老西園寺公を訪問することゝなるべく、その結果時局收拾は順調に進めば十五日より新たなる經過を辿り新展開をみせることにならう

近衞公に壓倒的囑望

【東京國通】阿部首相は十二日閣議後、各閣僚に對し政局一新のため現内閣のとるべき措置について最後的決定を表明し午後宮中に參内、湯淺内府と會見、内府にも同樣右決意を表明し玆にいよ〳〵政局は

新展開 に向つて進むことになつた

目下の情勢にあつては依然近衞樞相の動靜が注視の的となり軍部方面の總意は專ら同公の手によつて政局の一新と事變處理並に國内經濟態勢の强化を圖らんとしてをり、軍はその要望を貫徹するまでは相當執拗な努力を續けるものと見られ、軍の要望のみならず重臣方面も亦今日の客觀的情勢より見て近衞公に同樣の期待をかけてをり湯淺内府もこの旨を率直に近衞公に表明してをり、平沼騏一郎男も政界上層部に對して時局收拾は

近衞公 を措いてほかにない旨を力說したと言はれ、政黨、財界方面も二、三他に候補者は持つてゐるやうであるが近衞公に對する壓倒的人氣と以上の如き軍部、重臣方面の意向に鑑み時局收拾のために同公の出馬を期待する聲は漸次昂まりつゝありかくて目下の情勢は近衞公をめぐる動きが益々活潑となり同公に對する要望實現に向つて重臣、軍部、政黨財界各方面の力が漸次集中されてゐるが、近衞公は難局打開に對して多少杞憂の念を抱き出馬を躊躇してゐる模樣で

擧國的 ともいふべき各方面の要望に對して果して最後まで拒否し得るかどうか問題である、何れにしても首相が政局一新の決意を正式に表明した以上徒らに爾後工作を遷延せしめることは許されないので、こゝ一兩日中には公の進退も何れかに決するものと見られる

定例閣議

【東京國通】十二日の定例閣議は午前十時卅分より首相官邸に開會、阿部首相以下全閣僚出席、まづ河原田文相より昭和十五年度國民精神總動員實施要綱について報告、續いて永井、伍堂、小原各相より所管事項についてそれぞれ報告午餐を共にし正午散會した

北支軍の戰果

隨所に敵の企圖を破壞

【北京十二日發國通】北支軍發表＝北支軍は十二月初旬以來敵の所謂冬季攻勢の機先を制し果敢なる討伐を敢行して多大の戰果を收め隨所に敵の企圖を破壞せり十二月中に於ける綜合戰果左の如し

交戰回數一、六三五、敵總兵力三四三、〇〇〇、敵に與へたる損害＝遺棄死體二〇、三九八、捕虜一、八五九、鹵馬七六八鹵獲品の主なるもの＝小銃四、七四九、同彈四七二、九八二、拳銃五四九同彈七、八六四、自動小銃一三四、同彈二、四一七、自動短銃三七、同彈一、三〇〇、輕機關銃八三、同彈一、一四八、重機關銃一五、同彈一一、二〇〇、迫擊砲一三、同彈四一六、野山砲一四、同彈二六〇、防毒面一〇八わが方の損害＝戰死七六六、負傷一、六六二

新段階に處し庶政の構想を工夫

閣僚に披瀝せる首相の決意

【東京國通】政局一新に關し重大決意を固めた阿部首相は十二日の定例閣議後各閣僚に對し支那新中央政權樹立に對するわが基本工作も既に決定し今や事變處理は新たなる段階に入らんとしてゐる、この新たなる事態に處するためにはこの際民心の一新を圖る必要があり從つて新たなる態勢のもとに庶政の構想工夫を施すべきであるとてその決意を披瀝して諒解を求め午後二時政務奏上のため宮中に參内し御前を退下後、内大臣府において湯淺内府と會見その後の政情につき詳細に報告し政府の執るべき方途につき決意を固むるに至つた事情を述べて諒解を求むるところあつた、しかしてこれが具體的措置については各閣僚とも擧げて首相に一任してあるので首相は十四日午前中に臨時閣議を招集して最後の措置をとることになつた

政界人の動き

十二日の政界人物動靜

▽首相、内府と會見正式決意を表明

▽前田米藏、芳澤謙吉兩氏相次いで荻窪の私邸に近衞公を訪問奮起慫慂

▽原田熊雄男首相と會見首相決意に至る事情および決意實行時期等につき說明聽取

▽吉田海相、官邸で首相と會見政局見透しに關し重要懇談を遂ぐ

▽永井遞相、小原内相相次いで私邸に首相を訪問政局につき要談

民生の向上圖る經濟協議會設置

協和會の達情工作を强化

奉天市に試驗實施

戰時態勢下にある滿洲國内の物資需給關係は甚だしく窮屈狀態にあり、物價高と配給問題は昨年度協和會全國聯合協議會席上で論議せられ、各代表の眞劍なる要望に對し、協和會企畫局半田副局長より

現下の物價問題を解決民生の向上を計るために協和會各級本部内に物價、物資委員會を設置し積極的なる解決に乘り出すことを言明し、政府が各省特別市公署に設置せる整備委員會の機能と相對的に達情工作を主眼目とせるこの計畫が如何に具體化、實現されて行くか注目されてゐたが、右について中央本部では舊臘中央本部委員會でその大綱を決定し、更に一月十一日部局長會議を開催した結果、聯合協議の恒久的常置機關として經濟協議會を設置することに最後決定をみ、先づ滿洲經濟の中心都市である奉天に試驗的に設置し、漸次全滿に實施することゝなつた、なほ奉天市經濟協議會は奉天省本部長主宰のもとに置かれ協議會は總會と分科會の二部に分たれてゐるが經濟協議會は達情工作として公布せられたる法規制度または中央本部の經濟問題に關する示達事項の趣旨の徹底と實施の圓滑を期すべく

一、建議事項（法規の制定改廢に關し）

二、請願事項（法規の適用制度の實施に關し）

三、要望事項（殊特會社の運營に關し）

四、國民生活の實情報告

五、中央、地方官廳及び協和會本部より諮問された答申事項

六、官廳または會社より諮られたる協議事項

の審議研究を行ふ事になつてゐるが、中央本部經濟委員會は中央本部長の命を受けて

イ、經濟協議會運營の企畫

ロ、經濟協議會運營の指導監督

ハ、經濟協議會運營に關する

ニ、經濟協議會より上申されたる事項の審査

ホ、上申事項の處理方法の決定

ヘ、上申事項の處理及び經濟協議會運營に關する各機關との交涉並びに協議の事項を處理するが、中央本部長は經濟協議に關する事項で重要なるか、若しくは一般會務と關聯多き事項にして必要と認めたる事項は中央本部委員參與會議に附議し又は全聯處理委員會をして處理せしめその他處理事項はこれを報告せしめることゝなつてゐる

國民の協力に期待

總務部長談

協和會中央本部は經濟協議會並に經濟委員會設置に關し總務部長談の形式で次の如く發表した

統制經濟の實施に當つては第一に國家として國民に與へる摩擦と壓力とを最小限度に止めるよう具體的方法を考へ、第二には諸制度制定の精神と實施の方法とその及ぼす影響と之が對策等を徹底的に國民に理解せしむることに依り積極的に之に協力せしむるよう方法を執らねばならない、今回全國經濟の樞要地たる奉天市ならびに奉天省本部の指定したる省下の縣に於て當該聯合協議會を一分科として經濟協議會なる形式を以て實驗的に新しき恒常的宣德達情工作を實施し併せて中央本部には經濟委員會を設置して奉天市經濟協議會の運營を圓滑ならしむると共に各省（首都、縣（旗市））本部より上申せられたる經濟問題を處理する事となつた、經濟協議會は宣德工作として直接政府の意あるところを聞き疑問の點を質し且實施上の協力方法を審議決定し然も代表の背後には分會及分會員があるが故に政府の意圖は代表を通して國民に浸透し又協力が行はれる事に大なる期待を有する次第で此處で明にせねばならぬのは聯合協議會と本經濟協議會との關係であるが聯合協議會は全聯を除く外は地方的に全國に行はれるものであるのに對し、經濟協議會は經濟問題に限つて奉天市並に奉天省下指定縣のみに常置的試驗的に行はれるものであり、尚各級聯合協議會は種々なる事情から之を再々開催することは現在の事情では不可能であるが、經濟協議會は問題に應じて隨時に之を開催し得るところに大なる特色を有つてゐる

大遊說隊を派遣

開拓國策完遂へ拍車

開拓國策の確立と共に滿洲國においてはこれが主務官廳たる開拓總局の機構强化に着手し、土地處勤勞奉仕科の新設については目下官制の檢討が行はれつつあり遲くとも本月下旬迄には官制の公布を見るものと豫想されるが、此の主務機關の擴充と共に新設される開拓科學研究所に付ては新京に中央開拓科學研究所を設置する外全滿主要地區（主要都市に限らず研究對象所在地）七ヶ所に地方開拓科學研究所を設置し、開拓國策の科學的檢討を行はんとしており國内開拓政策推進力の擴充に邁進しつつある、この國内體勢の整備に加へてより積極的廣範な支援を求め廣く日本朝野の人士に呼びかけるため開拓團員を以て編成せる大遊說隊を組織、日本各縣に大陸開拓の眞義を喚起徹底せしめるべく七年度豫算中に十九萬五千圓を計上しており更に滿拓開拓團と協力滿洲視察者の積極的誘致方策を研究中で、滿洲視察者に對する一助成策として主要開拓地における簡易宿泊所設置についての補助金二萬餘圓の計上も見てゐる、この視察團宿泊所は全滿開拓地中比較的視察者の多い嫩安、寧年依蘭、寧安、磐石の五ヶ所に差當り各團をして宿泊所を建設せしめ概略一ヶ所四五千圓程度の補助を行ふものので尚視察者に對する便宜を考慮し長期、短期等三種類の視察ルートを設定右宿泊所を極度に活用せしむべく研究が進められてゐる、因に既に各團において設けられたる宿泊所は第一次彌榮、第二次千振その他十六ヶ所約千名の收容力を有してゐる

開拓團へ福祉

各種對策を實行へ

日滿開拓國策の圓滿遂行を期すべき開拓農民の保護育成問題は將來の開拓事業をトするものとして各方面から注目されてゐるが、これが具體的方法の一としては既に共恤費を日滿兩政府各五萬圓、計十萬圓を計上、應急的に開拓民義勇隊員の危急災害に對する救助方策を樹立、今後更に開拓者群の後顧の憂なからしむる福施方策の實施が研究されつつあるが、即ち滿洲國側では既に開拓團法の制定に着手し團員の身分、所有權の確立を法文化せんとするほか共濟制度の確立、開拓團を對象とする團體生命保險、家畜保險等が考慮されてゐるもの如く技術的問題として此の種保險に對する政府助成額の範圍が今後の研究對象となつてゐる、何れにしろ開拓事業に對する滿洲國側の態度は頗る眞摯積極的であり送出側たる日本朝野における開拓政策への關心の昂揚を希望してゐる

復興南支へ救國軍結成

打倒蔣政權を宣誓

【廣東十二日發國通】かねて和平救國反共をスローガンに復興南支の新しき勢力として正式結成の機運を窺つてゐた和平救國軍は愈よ十二日廣東光孝路同軍本部において治安維持會長呂春榮中將を總司令に晴れの結成式を擧行した、式は來賓多數參列の裡に正午より呂春榮總司令先づ和平救國反共、打倒蔣政權の宣誓を行ひ引續き南支派遣軍司令官の祝辭をはじめ陸海外各方面の來賓祝辭あり幹部官兵の敬禮奏樂の後茶會に入り同三時盛大に結成式の幕を閉ぢた

滿鐵設立の勅令一部改制

【東京國通】十二日の閣議で南滿洲鐵道株式會社設立に關する明治卅九年六月七日勅令第百四十二號中改制の件が上程可決されたがこれは近く實施される滿鐵增資に當り新に滿洲國政府が出資參加することになつたに鑑み同勅令第二條の「會社の株式は總べて記明となし日淸兩國政府及び日淸兩國人に限り是れを所有することを得」中「日淸兩國政府及び日淸兩國人」を「日滿兩國政府及び日滿支三國人」に改めたものである、尙滿鐵ではこれに伴つて定欵を一部改制することになり來る廿日臨時株主總會を開催附議する

經理股長會議

治安部警務司では來る廿、廿一兩日午前九時半より治安部講堂において谷口警務司長、三宅警務科長、七田警務科經理股長等出席のもとに首都警察廳伊波經理股長をはじめ各省警察廳經理股長約廿五名參集、全滿經理股長會議を開催、康德七年度豫算編成方針の指示について警察豫算の根本的改善意見ならびに本年度における經理事務上の希望事項につき種々協議される

滿洲生命の支部長會議

今年上半期迄に契約高一億を突破するといふ業界に驚異的實績を收めた滿洲生命株式會社では更に一層新工夫をこらし所期の目的達成に邁進せんと來る十七、八の兩日に亘り日滿軍人會館で全滿廿數ヶ所の支部長を招集し今後の募集計畫について協議することゝなつた

米穀分科會

新京特別市經濟整備委員會米穀分科會は十二日午後一時から市公署第一會議室で各委員出席の下に開催、配給機構その他前會審議の重要案を再檢討して同五時散會、分科會の結果は更に區長會議に提示された上、廿四、五日ころ委員會を開催して最後的決定を見ることになつてゐる

人事往來

▲篠原龜三郎氏（弘報協會東京支社）十二日午後五時二十分東京國都ホテル
▲佐々木國通北京支局長 同
▲鈴木俊久氏（國通奉天支社長）同
▲船木重光氏（同盟通信社員）同ヤマトホテル
▲大津徹氏（鐵道總局水運課長）同
▲高不二郎氏（會社員）同
▲吉澤謙太郎氏（同）同
▲山本寅一氏（滿洲國官吏）同國際ホテル
▲伏見嚴氏（同）同
▲酒井一雄氏（滿鐵社員）同
▲古畑平市氏（滿洲國官吏）同
▲毛利平六郎氏（滿鐵社員）同

社説　英ソ關係の緊張

英國とソ聯との間の國交關係が最近に至つて著しく緊張化するに至つたといふ報道があるのは注目に値ひするであらう。もともと理論上から言へば、ソ聯のポーランド進攻當時から英ソ關係は當然惡化すべき筈のものであつたのである。否それ以前に、ソ聯と獨逸との緊密な關係が成立した當時に於いてすら、英國はその直前までソ聯との提携のために外交交渉を行つてゐたのであるから、突如英國が知らぬ間にこれまでの英國との接近をすつかり解消せしめるやうな獨ソ關係が成立したことに對して英國としては強く反撥すべきものであつたらう。しかし英國は何故かさうした態度に出なかつた。或ひは專ら獨逸に對處すべき方策を練るために多忙だつたのでもあらう。しかし何としても英國の態度がソ聯に關する限り頗る煮え切らぬものであつたことは爭へぬのである。ソ聯のポーランドへの進攻の如き、あれほどにポーランド擁護を叫び來つてゐる英國として到底その儘に放任しては置けない筈であつたのである。しかし英國は袖手傍觀と言つた態度をとり、われらにも奇怪な感じを持たせたのであつた。思ふにそれは對獨逸戰準備のために力をそがれ、餘力を持たなかつたものでもあらう。或ひはまた事こゝに到つたとは言へ、出來るならばソ聯をして今一應後退せしめ適當な妥協を策することに依つて對獨逸對處の上に有利な地歩を占めようと考へたのであるとも考へられる。それはともあれ、ソ聯は毫も遠慮などするものではなかつた。十一月末に至るや今度はフィンランドへの進擊を開始した。フィンランドの頑強な抵抗によつて、ソ聯のフィンランド進擊は仲々進まぬやうではあるが、やがてはソ聯が一應勝利するであらうとは軍事專門家の一致した觀察である。英國はフィンランドに對して大いに同情してゐる。フィンランドの地位が獨逸制壓下のバルト海內部にあるため直接の援助は至難であると稱してゐるが、英國政府はフィンランドに對する物質的援助を可能ならしめるため軍需品輸出禁止令の緩和を行ふことになつたとの報道もあつた。

英ソ關係の惡化は來るべきものが當然に來たのだといふ感じを抱かせる。しかし兩國ともにその外交の驅け引きでは達者な國であるし事態が更にどう展開するかは事實について見る外はない。ただ歐洲情勢中漸次各國の態度色彩が明瞭になりつゝある事は指摘出來る。

事務總長狙擊犯人　隱匿浮說を衝く

三浦憲兵隊當局談

【上海十二日發國通】去る六日滬西越界地區において發生した工部局事務總長フイリップ氏の狙擊事件に關し工部局及び英國警備軍方面では右狙擊犯人は日本憲兵隊に逮捕されたるにも拘らず日本側はこれを否定し犯人の引渡しに應ぜず、故意に犯人を隱匿してゐるとの浮說を流布しつゝある事實に鑑み、上海三浦憲兵隊ではかゝる浮說が工部局側と積極的に協力し租界周邊の治安確保に努力しつゝあるわが方の態度を誹謗し、延いては國際關係の惡化を招來せんとする惡意ある意圖に基くものである點を重視し、爾來事件發生當時の模樣並に犯人の行方につき嚴重調査を續けつゝあつたが十一日夜三浦憲兵隊では當局談を發表

滬西憲兵隊は工部局側より犯人引渡し要求に接して初めて事件發生の事實を知り、その時すでに犯人は市政府警察に逮捕され滬西憲兵隊に引渡されたとの浮說が行はれてゐた點、工部局並に英國警備軍側はわが方の再三の言明にも拘らず執拗に犯人の引渡を要求、これに對しわが方では噂の出所を追及したるに對し奇怪にも言を左右にしてこれに應ぜぬ點等を指摘、八項よりなる實地檢證の具體的事實を擧げて日本側に犯人逮捕の事實なきことを明示し、工部局側が根據なき惡質の風說に基いて犯人引渡を要求しつゝある輕率な態度に甚だ遺憾の意を表し反省を促す所あつた

事務總長　上海市長要談

【上海十二日發國通】共同租界工部局G・G・フイリップス事務總長は十一日午後五時施高搭路の上海特別市長官舍に傳宗耀市長を訪問約一時間に亘り滬西越界路の警察權問題に關し種々要談を遂げた

新政權中傷に　重慶政府躍起

笑止、外交代辯者談

【上海十二日發國通】日本における支那中央政權樹立方針決定に重慶政府は大狼狽を來し重慶側要人の脫出民心離反の防止に努めると同時に新中央政權に對する離間中傷の宣傳に躍起となつてゐるが、重慶來電によれば外交部スポークスマンは十一日午後外人記者團を招待し大要次の如き談話を發表した

昨今中央政府樹立計畫は既に重慶政府との諒解が出來てゐるといふやうな噂が傳へられてゐるが、余は特に強くこれを否認するものである、重慶政府は法律上も事實上も如何なる傀儡政府とも何等連絡なきことを余はこゝに强調する

鼓浪嶼のテロ　背後に使嗾者

【廈門十二日發國通】廈門高等法院長汪祖澤氏は記者團と會見、今回鼓浪嶼に發生したテロ事件に關し左の如き談話を試みたが重慶に對する同法院側の態度を明かにしたものとして注目されてゐる

今回の黃、劉兩氏の遭難は誠に遺憾であり同情に堪へない、犯人は未だ縛につかないが犯行の背後に使嗾者のあることは確で兩氏を知ると知らざるとに拘はらず齊しく憤慨に堪へぬ、犯人が逮捕された場合その審理は當然廈門地方法院に於て行ふことは勿論で鼓浪嶼の會審公堂は從來の條約關係上輕微なる事件には及ぶが今回の如き重大なる事件を受理すべき權能はないのである、天津の例か、それでこゝ數十年來天津租界內に發生した犯罪はその輕重を問はず總て租界工部局から天津地方法院に移送され該法院で審判されて現在に至つてゐる、鼓浪嶼はその事情が全く天津と同一であるからこの例に倣ふのが當然であり若し鼓浪嶼當局にしてこれと異る處置をなす如きことあれば今後鼓浪嶼は必ずや犯罪者の溫床と化するであらうし一般良民にとつてはこれ程迷惑なことはない、この意味に於て中外當局は本事件に對し一層の善處をすべきである

英字紙の敵性

蔣の宣傳に踊る

【廣東十日發國通】蔣介石の企圖せる今次冬季攻勢は豫期に反し全く畫餅に歸し去つたが、蔣はこの敗戰の事實を自國國民並に第三國側に對し隱蔽せんがため自己の機關たる新聞通信を通じ、支那軍は日本軍を擊滅潰走せしめたりと鳴物入りの宣傳に大童の態であるが不可解なのは香港に於ける地方英字新聞がこれらの抗日紙に眩惑され比較的公平な報道をなして居る自國の通信たるロイテルに依らずして中央通信その他の抗日紙の報道を鵜呑みにしてその儘掲載して居り、殊に七日、八日の報道に至つては重慶政府の機關紙大公報と全く軌を一にしてゐる狀態である、斯の如きは日英國交調整の比較的圓滑に進捗しつゝある折柄とて甚だ遺憾なる所爲とみられてゐる

魯蘇區討伐狀況

【濟南十二日發國通】○○部隊魯蘇地區における討伐狀況左の如し

一、佐野部隊滿家寨魯北分遣隊は四日夜半四百の敵來襲を受けたがこれを擊退した、敵遺棄死體卅八

一、孤山集遠藤討伐隊は八日鐵庄において敵三百五十と交戰潰走せしめた、敵遺棄死體卅、鹵獲小銃廿五

一、陳家陽鎭稻木討伐隊は七日同地西南地區において約百の敵を攻擊四散せしめた、敵遺棄死體十五

米大使上海へ

【上海十二日發國通】北支滯在中の駐支アメリカ大使ネルソン・ジョンソン氏は來る十八日北京出發上海へ向ふことゝなつたが同大使は上海に於てゴース總領事と會見、直ちに香港經由重慶に向ふ豫定といはれる、ジョンソン大使は昨年十月廿日重慶より香港經由上海に到着するや三日にして北京に向つたが、京津滯在後一ヶ月にして再び重慶に赴くことになつたもので目下重慶には英大使カー、佛大使コスム、ソ聯大使パニユーシユキン等ありジョンソン大使重慶行きと關聯してこれ等外交使節團の動きは頗る注目されてゐる

互惠通商計畫　擴張を要請

【ワシントン十一日發國通】互惠通商制度の提唱者として知られるハル國務長官は十一日下院歲入委員會に出席し證言を行つたが、席上長文の聲明文を朗讀、米國農產業助成ならびに世界平和達成のため互惠通商計畫の擴張を要請した

崇明號の遭難調査

【上海十二日發國通】漢口下流廿五哩の地點で沈沒した東亞海運汽船崇明號の遭難狀況については、同社上海支社に未だ入電なく乘組員並に乘客の安否が氣づかはれてゐるが上海支社船客部丸山次長は右調査のため十二日遭難地點に急行した、崇明號は九百餘噸といはれ長江減水のため最近蕪湖漢口間の連絡船として就航してゐたもので船長は牛島廣氏である

日本航空の航路伸びる

【東京國通】日タイ定期をはじめ南洋島內路線、東京＝新京直通航空等本年のわが國際航空が一大飛躍を遂げることに對應して國內ローカル線も根本的擴充を行ふことになりこれに就航する使用機について遞信省航空局と日航とが萬全の計畫を進めた結果國際、國內ローカル線ともすべて純國產機をもつて充當すべく既に製作中のもの及び發註された大小新銳機は總數百餘機に上つてゐるこの中壓卷は巡航速度三百キロ航續力二千キロ以上を出す十五人乘三菱式双發新輸送機で五月から續々國際線に就航し年內に數十機を揃へる豫定で、これと併せて國產ダグラスD・C・三（九百馬力二機附）も年內に十數機整備し連絡の急行便に使用する一方ローカル線には航空局試作にかゝるT・K二型約十五機、中島式A・T旅客輸送機十數機を新作就航せしめ、また貨物輸送のため中島式双發貨物專用機約十機を新作、旅客輸送に併行せしめる等ダイヤも飛躍的に充實すべく特に東京、大阪間定期の如きは每日數往復が實現するものと見られ、南洋定期に就航する新銳飛行機の誕生と共に皇紀二千六百年のわが民間航空は未曾有の活氣を呈してゐる

對獨優勢保持に　聯合軍米機發註

最小限一萬臺必要

【ワシントン十日發國通】英佛兩國は開戰以來夫々軍事使節を米國に派遣して米國製飛行機購入に努力してゐるが十日米國滯在中の英國空軍將校が米國航空界に寄せた報告に依れば、英國はドイツに對する空軍の優越を確保するため今後十八ヶ月間に最小限約一萬臺の米國製飛行機を必要とすると言はれ注目を惹いてゐる

現在英佛兩國の聯合航空機製造能力一ヶ月一千五百臺であるに比しドイツ側の製造能力は一ヶ月二千臺と言はれ英佛兩國はこの劣勢を米國飛行機購入を以て補充する意向である、尚英國は目下航空機生產力の擴充に銳意努力して居り近く單獨で一ヶ月約二千二百臺の航空機製造能力を有することにならうと期待されてゐる

米の巡洋艦建造

獨自の設計に依る

【ニユーヨーク十一日發國通】スターク海軍作戰部長が下院海軍委員會において發表した新建艦計畫により建造さるべき新巡洋艦の性能に關しては極秘に附されてゐるが、これに關聯して十一日附ニユーヨーク・タイムス紙はヴインソン建艦案の內容は巡洋艦十九萬二千トン航空母艦七萬二千トン、驅逐艦六萬トン、潛水艦四萬五千トンその他三萬トンとなつてゐると報じてゐる、しかしてこの建艦案によつて建造さるべき巡洋艦は全く米國獨自の設計に基くものであり各艦とも一萬二千トン乃至二萬トンに及びその裝備は各國巡洋艦よりはるかに強大で、主として米國の通商路並にその屬領防衛のために用ひらるることゝならうといはれてゐる

米新年度建艦　百二十隻

【ニユーヨーク十一日發國通】ウオルシユ上院海軍委員長がニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーン紙記者に與へた數字によると米海軍が現在建造中の艦艇數は戰鬪用艦艇七十九隻、補助艦艇十七隻、合計九十六隻であり、今回の豫算教書に計上されてゐる新起工分戰鬪用艦艇十九隻、補助艦艇五隻、合計廿四隻を合すると新會計年度における建艦は百廿隻にのぼる、このほかルーズヴエルト大統領が既に建艦命令を出す權限が與へられながら未だこれを實施してゐないところの所謂紙上艦隊の數は戰鬪用艦艇五十六隻、補助艦艇八隻合計六十四隻の多數に上つてゐる

西部國境附近　空中戰況

【ベルリン十一日發國通】ドイツ軍司令部發表＝西部國境附近を偵察中敵空軍と數回戰鬪を交へ敵機二機を擊墜したが、わが飛行機一機も敵機を追跡中コルマール附近において不時着し機體を大破した、またブリストル・ブレンハイム型英國機九機はわが飛行場の襲擊を企圖したが、これまた擊退され內三機が擊墜された

佛軍司令部發表

【パリ十一日發國通】フランス軍司令部は十一日西部戰線における戰況が活潑化した旨左の如く發表した

十一日の戰線は特に彼我の砲擊戰の增大が注目せられた、同時に彼我空軍の活躍も愈よ熾んでドイツ偵察機一機はわが戰線內に擊墜せられた

アフガニスタンも　强制徵兵制度

【カイロ十一日發國通】英獨ソ三國の角逐を續る近東中東方面邊境地方の不安が增大しつゝある折柄、十一日のアバス通信によればアフガニスタン政府は國土防衛の完璧を期するためいよいよ十七歲以上の男子に對し强制的徵兵制度を實施するに決定した模樣である、これと共に同國政府は武器購入並に交通、通信機關の擴充を圖るため新稅の賦課をも決定した、なほアフガニスタン官憲は反共政策を實施し特別警察を設け共產黨の活動に對しては彈壓を加へてゐる

任部長昇任　最初の大將

【南京十二日發國通】維新政府綏靖部長任援道中將は綏靖工作に盡瘁した功によりこの度大將に任ぜられた同大將は現在軍官學校長を兼任し維新政府では始めての大將が生れた譯である、なほ綏靖部次長黃其興氏は中將に昇進した

獨空爆軍を擊退　英防空軍盛に活躍

【ロンドン十一日發國通】ロンドンに達した各地からの情報を綜合するに十一日午前中にドイツ空軍はテームズ河口、英國東南岸、東海岸、タイヌ河口沖、ハムバー河口沖およびスコットランド南岸等の六ヶ所を襲擊したが至るところで高射砲火および英國防空戰鬪機の邀擊に遭つて目的を達せずして擊退された

阜新市公署　首腦部の陣容

新設阜新市公署の首腦部陣容は、一月一日附を以て次の如く發令された

任市長（薦一）補阜新市長　遼陽市副市長　稻葉賢一
任市事務官（薦三）命阜新市庶務科長　錦州省事務官　尾藤信一
任市事務官（薦三）命阜新市行政科長　錦州省事務官　採鑑武
錦州省屬官　[illegible]一年
任市事務官（薦三）命阜新市財務科長　縣技佐　竹內[illegible]
任市技佐（薦三）命阜新市工務科長　縣警正　田村元
任警察廳長（薦三）補阜新警察廳長　瀋陽縣警正　李邦禎
任省理事官（薦三）命間島省警務廳保安科長　錦州省事務官　依[illegible]布
任旗長（薦三）補吐默特左旗長　吐默特右旗長　沅布多爾濟
補吐默特中旗長
（一月一日附各通）

前田米藏氏　近衞公を訪問

【東京國通】政友會中島派の前田米藏氏は十二日午前八時四十五分荻窪の私邸に近衞公を訪問各方面の情勢を報告、同公の奮起を要請した

新中國人の私と日本（下）

汪兆銘

既に決つてゐた和平方針の蹉跌

民國二十七、八年（昭和十三、四年）即ち一昨年と昨年の正月は私の生涯で最も深刻な正月だつた、二十七年（昭和十三年）の正月は南京陷落の直ぐ後で私は漢口にゐた、丁度その前年の十二月二十四日トラウトマンドイツ大使の和平條件に對する廣田外相からの第二次回答があつた、張群、王寵惠、孔祥熙と私とがこの回答を中心に討議した末この條件を受諾すべしとの結論に達し、その旨蔣委員長に報告したのであるが、蔣委員長け言葉に窮してゐる風であつた、その結果問題が重大であるから白崇禧、李宗仁、閻錫山の來着を持つて正式に討議決定するといふことになつた、こんな工合で結局李宗仁は參加出來なかつたが、十二月三十日から翌年の元日に至るまで、三日間に亘つて國防最高會議が開かれ和戰の問題を協議したのである、そして大晦日に至つてトラウトマン大使の和平提議を受諾することが決定した、併せて蔣介石は行政院長の職を辭し、孔祥熙が代つて院長となり張群が副院長になるといふことも決定を見るに至つた、蔣介石としては自ら行政院長の職を退くことにより媾和の責任をとるのを避けやうといふことであつたらうと思ふ、二十七年の元旦は朝から皆で蔣委員長を圍んで丸一日色々と話し合つて暮した、例年ならば政府當局者一同打ち揃つて年賀の禮を交し、中山陵に詣でるのであつたが、この年は南京既に落ち、中山陵は日本軍の占領するところとなつてゐるのだ、實に何とも言へない暗然たる氣持であつた、孔、張はこの日正式に就任し、二日には白崇禧、閻錫山等が漢口を去つて前線に赴き、四日には蔣介石も開封方面に去つてしまつた、ここで後に殘つた孔祥熙と張群二人に和平の全責任が負はされてしまつたのである、然し前後左右から色々の邪魔が入り徒らに時日を空費してゐる中、日本は遂に待ち切れなくなつて一月十六日の聲明を發するに至り、總ては全く水泡に歸してしまつたのである、今になつて蔣介石は私の和平運動に非難を浴せてゐるが、私としてはかゝる非難は全く承服しない和平方針は既に二十六年の大晦日の國防會議で正式に決定され、二十七年の元日からは實行に移される筈であつたのだ、然しこのことについては屢々說明もし、今日では天下周知の事實となつてゐるのだから繰返して述べることもないと思ふ

感慨深い昨春　ハイノの正月

昨年の河內での正月を想ひ出すと實に感慨無量である私は前年の民國二十七年十二月十八日重慶を脫出し、二十九日に第一次通電を發した、わざわざ河內に行つて通電を發した理由は、重慶にゐては到底自分の意見を發表することが不可能だつたからである、蔣介石の平常のやり口から、私がかゝる通電を發して態度を明かにすれば、必ずテロ手段を以て對抗してくるであらうことは充分承知であつた然し廿二日には近衞聲明が發せられてゐるので、私としてはこれ以上時間を空費することは出來なかつた、同志の周佛海、陳公博、陶希聖、梅思平等は第一次通電を發するため香港へ行つてしまつたので、河內には私夫婦と曾仲鳴と秘書二三名だけが殘つた、私共はその當時何一つ護身用の武器を持たなかつた、さればといつて現に危險が身に迫つてゐるでもないのに、佛印當局に保護を要求することも出來ず、又保護を受ければ同志との連絡上都合も惡いので、佛印當局からは保護の申出があつたがこれを拒絕してゐた、然し河內の市內にゐては危險なので、市外の山上にあるダムダオといふ避暑地のホテルに入つた、冬であるから私共の他には何人もゐない、ガランとした大きなホテルの一室で、私共四五人は緊張裡に然し極めて靜かに和平運動開始後初めての新年を迎へたのであつた、元日の夜私の手許に情報が入り、重慶では私と同志との國民黨籍剝奪が畫策されてゐることが判つた、この報せには流石に私も曾仲鳴も暗然とし、その夜は一晩中皆で考へ込んだのである、重慶を脫出して來たばかりの私共としては、直ちに重慶に反對することは情に於て忍びない所であつた、一方又當時は未だ日本側の出方も私共には判らなかつた、近衞聲明は未だ原則的のものである日本が具體的にどう出てくるかは全く不明だつたのである、そこで私共は暫く沈默を守り事態を靜觀することに決心した、一月一杯は靜かな山上のホテルで書物にふけつて暮さうと思つたのである、然し一月の十七日には同志の一人林柏正が香港で暴漢に襲擊され重傷するといふ事件があり、空氣は急激に切迫して行きさうであつた、そこへ一月廿八日であつたか、山の下から怪しい者が十何名かダムダオの方へ向ひつつあるといふ急報があつたので私は直ちに山を下つた、彼等がホテルに到着した時には既に藻拔けのからだつたのである、此の時から私は河內に別に一軒の家を借りることとしたのである、當時佛印當局はこの家を護衛すると申出て來たがこれを拒絕したので、家の附近には警官が一人立つてゐるのみであつた、家そのものには全然護衛設備はなかつた、三月二十一日同志曾仲鳴が重慶側のテロの兇手にたふれたのはこの家である、この事件あつて以來佛印警察當局は私の家を完全に包圍して警戒するに至つた、蔣介石は私の癖をよく識つてゐるが、私は彼の癖を知らないと非難されたことは一再に止らない、重慶脫出後私が直ぐ積極的行動に移らなかつたことについても、同志の間に相當批判をうけたものである、萬一河內かダムダオで私が重慶側のテロに倒れてしまつたならば、和平運動は遂に水泡に歸してしまはねばならなかつたらうといふ批評も受けた、然し自分の心持を正直にいふと、脫出したばかりの重慶を向ふに廻して、これらの打倒に邁進するといふことは、自分の心持としてはどうしても出來なかつたのである、こんな感傷は婦女子の仁に過ぎぬといふ人もある、私自身も虛心坦懷に自分を批判して見なければなるまいと考へてはゐるが、自分の信念遂行の途上に於て、時に孤獨に陷るとしても已むを得ないことであるし、私として何等心に悔む所はない、何れにしても重慶を離れ河內で過したこの孤獨の正月は、自分の一生としては何としても忘れ難いものであり、殊に今上海に於いて新しい希望を持つ正月を迎へたに際し、當時を思つて感慨無量のものがある

商況（十三日後場）

各地株式市況

●大連株式（短期）　寄付　大引
●奉天株式（短期）　寄付　大引

守形交換高（十二日）

寒さに負けるな……戸外に出やう！
興亞の年頭に　市民の保健運動

興亞の年を新に迎へて東亞新秩序建設の中堅たるべき滿洲國首都市民の體位向上健康增進は最も肝要なこととされてゐるが、新京特別市公署保健科では新春早々「戸外へ出ませう」「衛生に注意しませう」―街を綺麗にしませう」といふ標語三つを掲げて歩行獎勵、戸外運動、清掃實施の徹底を期することゝなつた

まづ「室内より戸外へ」の提唱は節炭運動と密接な關係がある低温生活の一翼をなすもので、冬季ともすれば澁滯し勝ちな外出に不充分な國都の交通難を克服し能率の增進と併せてガソリン節約も圖らうといふ一石二鳥三鳥の效果を狙つたもの、老人、子供を優遇して若い元氣なものは馬車、洋車、汽車（自動車）の便を出來るだけ避け、廿分も三十分も寒風に曝されて滿員バスを待つやうな不合理をやめて「さあ歩け歩け」といふのである

つぎの戸外運動の必要や效果はいふまでもなく銀盤の魅力を中心にスキー、スケートへの勸誘であるが、これは特に婦人に積極的に呼びかけ家庭向きな簡單なリンクの設置や公園、小學校等の利用を極力獎勵してゐる、戸外運動に關聯して考へられるのは街路の清掃であるが、これはまた凍結による顛倒事故の防止と除雪といふ副作用がある、大體法令で定められた個人のお掃除の義務は

居住又は使用管理する土地家屋その他の工作物一切▲歩道、車道の別ある道路では歩道及び側溝▲その區別のない道路は中央を境として兩側居住者がそれぞれ自己の居住する側面

となつてゐてこれ等の清掃撒水除雪は當然の義務とされてゐる、このほか下水溝の設置、便所の完備、塵芥箱の充實等のことはいふまでもないが、現在滿洲國では日本と違ひ法令違反の場合には拘留科料などの強制懲罰主義をとらず文化發達の程度に應じた市公署警察等の適切な指導によつてゐる、然しいづれは懲罰主義を採用するほかはないためこれに付いてはパンフレット、ラヂオ等によつて一般の自發的協力を切に求めてゐる

更に室内の温度調節と換氣、薄着、喉の獎勵など寒さを克服すべく大陸の冬季生活の改善案を多々的に盛り込み光輝ある友邦日本の皇紀二千六百年に當り國都市民の面目を一新すべく努力してゐる

教師の退轉職を精神教育で阻止
聖職自覺を促進

小國民の訓育が日々重要性を倍加して行く現下國家情勢と逆行して肝心の教師の社會的レベルがどんどん低下するばかりか殷賑業務への轉出が激しくなつて來たことは國民教育向上に大きな暗影を齎す重大問題であると日本文部省方面でもすでに教師の動向調査を開始してゐるが開拓國策の遂行と共にいくらあつても足りないといふほど教師の拂底に惱んでゐる駐滿日本大使館教務部でも當然同じ惱みを味ふ日近きを期してあらゆる方策を講じつゝ產業部門への退轉職を阻止することゝなつた、元來旅順の男女師範學校卒業生以外の教師は全部内地から募集してゐるため内地とちがつて義務年限ないための足がる教師を同部では轉職退職願ひは如何なる場合でも學期末以外許可せぬは勿論後任選定まで轉任を許さぬ方針を執つてゐるため現在ではさしあたつての轉職者はないが開拓教育の擴充に伴ふ教師拂底の激化に備へ退轉職防止を一層强化し督學官からあらゆる機會を捉へてその特權的地位とその聖職を深く自覺せしめ各方面から差し伸ばされる物質的厚遇の誘惑に迷はぬ樣精神教育に一段と力を注ぐとゝもに定期連絡その他低給教師に對する各種優遇方法を考慮することになつてゐる

拓士の養成へ
小學校卒業兒童訓練

【東京國通】東京府學務課では本年卒業する高等小學校および尋常小學校兒童に拓務訓練を行ふため府下七百の小學校に希望者を募集してゐたところ約七百名の希望者があつたので、十八日から八王子市外の東京府立七生拓務訓練所で拓務訓練を實施することゝなつた訓練は五十名乃至七十名あての兒童を一組とし一組十三日間に亘つて將來滿蒙に雄飛するための農業實習、軍事訓練等を宿泊して行ひ士氣を鼓舞するため登山、武道も行ひ小學校長も參加して夜は座談會等を開いて兒童達に自主的の訓練を積ませる、また講習中は作文を作つて滿洲にすでに赴いてゐる拓士や義勇軍に慰問文を送る等將來はこれ等の訓練を受けた兒童の中から選拔して滿蒙開拓の戰士たらしめる意氣込みである

鴨綠江水電發電機は米國へ註文

第二松花江水電とゝもに滿洲國の劃期的事業として注目されてゐる鴨綠江水電の水豐洞發電工事は豫定通り明年四月十萬キロワット發電機一臺の据付完了を目標に嚴寒の中に着々工事を急いでゐるが、現在計畫されてゐる總出力七十萬キロワットに要する發電機七臺（一臺の出力十萬キロワット）中日本へ發註した三臺を除く四臺が全部ドイツに發註されてゐたゝめ歐洲動亂の勃發に依りこれが完成は殆んど絶望となり重大難關に逢着するに至つた、鴨綠江水電の完成と並行して滿洲電業の水豐＝鞍山及び水豐＝安東＝大連の超高壓送電線の建設による中南滿地方への送配電計畫並びに滿洲輕金屬安東工場をはじめ安東工業地帶における諸計畫が進捗してゐる現狀に鑑み關係方面で可及的速急に所期の發電計畫を完成せしむるため對獨發註四臺のうち二臺を取敢へず日本に發註することに決定、これが部分品中一部分を米國に發註する必要があり、これに要する爲替手當につき先般來日本側と折衝中であつたが、大體諒解を得るに至つたのでこの程芝浦製作所に正式發註を終つた、この二臺は八年末から九年初めには完成の豫定であり同製作所で製作中の三臺は八年四月から九月迄に全部完成するので九年夏までには十萬キロ發電機五臺の据付を完了するわけである、なほ米國に發註する二臺については諸般の事情を考慮して種々研究中であり近く正式決定を見るものとみられてゐる

大陸に新ホーム

【東京國通】十一日午後二時新天地開拓の鍬ふるふ逞しい滿洲開拓農民十五名が殊勝な納まり顔をして東京府廳に入つた、と思ふ間もなくこれも健康にハチ切れさうなもんぺ姿の若き女性十五名がやつて來た、これぞ岡田知事が月下氷人となつて行ふ東安省静岡村の下山田一君（三〇）等十五組合同結婚式の御本人達であつた

花婿側は揃ひの國防色詰襟の服を固め、花嫁側は府知事さんの心からの祝の品九圓五十錢也の揃ひのもんぺ姿である、近親者その他開拓關係者日滿婦人會員等賑やかに參列するうち、花婿花嫁もいさゝか固くなりながら急ごしらへの式場に居並ぶ定刻先づ君ケ代齊唱に始まり宮城を遥拜して後、日枝神社の内海主典の祝詞と三々九度固めの盃、月下氷人の祝詞があつて目出度く式を終り續いて商工會館で非常時型宜しく折詰の合同披露宴が張られた

十二月上旬貿易

經濟部發表＝十二月上旬貿易額左の如し（單位千圓）

	十二月上旬	前年同旬	一月以降累計
輸出	二三、一四六	二五、五八三	七六八、九五六
輸入	五一、九八二	四三、六五一	一、六六四、六〇三
入超	二八、八三六	一八、〇六八	八九五、六四七
△對第三國關係			
輸出	一、五二〇	六、四〇一	一四二、五〇二
輸入	四、一二二	六、〇八二	二〇二、九一三
入超	二、六〇二	三一九	六〇、四一一

△重要輸出品

	十二月上旬	前年同旬
大豆	[illegible]	[illegible]
高粱	[illegible]	[illegible]
大豆粕	[illegible]	[illegible]
其他豆粕	[illegible]	[illegible]
粟	[illegible]	[illegible]
大豆油	[illegible]	[illegible]

△重要輸入品

	十二月上旬	前年同旬
小麥粉	[illegible]	[illegible]
魚介類	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]
人繊織物	[illegible]	[illegible]
紙類	[illegible]	[illegible]
鐵鋼	[illegible]	[illegible]
電氣機器	[illegible]	[illegible]
車輛及裝置	[illegible]	[illegible]
部分品及機械裝置	[illegible]	[illegible]
臺灣	[illegible]	[illegible]
南洋	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

滿鐵、傍系と人事交流

滿鐵では交通運輸關係傍系會社運營の適正を期すると共に業務上の連絡を緊密化するため中堅社員の人事交流を行ふ方針を以てこの程總局營業局その他より主任級八名を國際運輸支店長代理級に轉出せしめこれと入れ代へに近く國際運輸より三名の滿鐵入が決定してゐるが大連汽船及び大連都市交通との間にも同様近く相當數の中堅社員の人事交流を行ふことになつてゐる

昇格選手決定

去る六、七の兩日撫順において開催された第二回全滿第二部氷上競技選手權大會の結果第一部競技登格者を次の如く決定した

▼滑走（スピード）男子＝松田義雄（新京）野口洋（撫順）杉崎一（奉天）ツウンターク（哈爾濱）李昌順（奉天）坂本喜一（新京）劉樹權（奉天）女子＝木林芳子（奉天）久保田洲美子（奉天）瀨澄子（奉天）加藤照子（奉天）龜山豐子（奉天）中村和（新京）早川順子（奉天）佐野幸子（奉天）

▼型滑（フイギュアー）男子＝五味川八太郎（關東州）大谷泰夫（奉天）女子＝陳川芳子（奉天）山本トシ子（哈爾濱）金貞子（哈爾濱）

十四年度貿易（日本）

【東京國通】大藏省發表＝昭和十四年における對外貿易を内外地に區分して示せば左の如し（單位千圓）

△輸出額

	昭和十四年	前年比（增）
内地	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]
臺灣	[illegible]	[illegible]
南洋	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

△輸入額

	昭和十四年	前年比（增）
内地	二、九一七、六九四	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]
臺灣	[illegible]	[illegible]
南洋	[illegible]	（減）[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

△輸出入合計額

	昭和十四年	前年比（增）
内地	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]
臺灣	[illegible]	[illegible]
南洋	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

△差引超過額

	出超額	前年比
内地	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]

大東港の工業地帶　計畫は世界一
E・G・メッチー氏讃ふ

大東港工業地帶の企業條件調査を鮎川滿業總裁の依頼を受けて來安した土木建設技術の世界的權威E・G・メッチー氏は梅津滿業囑託と共に十日四時間に亘り大東港を具に視察したが、同氏は十一日在安記者團との會見で左の如く語つた

私はトルコの鐵道、オランダの水道建設などに從事しましたがかゝる廣大な工業地帶計畫が進められて居ると言ふ事は世界第一といつても過言ではない、ロサンゼルスにも相當大きな建設が行はれて居るが、港灣と工業地帶と離れて居る、當地帶は豐富低廉な電力、工業用水も得られヒンターランドに東邊道を控へ企業條件は全く完備して居ると言へやう

なほ同氏は十一日ひかりで東上、一まづ歸國した上四月頃再び來滿する豫定

近づく白露聖祭
松花江上　敬虔なる洗禮祭

樅の木を圍んで祝ふエミグラントのクリスマス・イヴから二週間目一月十九日の哈爾濱名物「洗禮祭」は後一週間に迫つた、この日市内卅餘ケ所の寺院は早朝から聖鐘を打鳴らし善男善女は各寺院に集り朝の祈禱を捧げたのち午前十時を期し金の十字架を捧げた僧侶を先頭に中央寺院、ソフイカヤ寺院或はヴラゴエシチエンスク寺院等から續々聖徒が松花江の洗禮祭場に向へば沿道の市民は十字を切つて迎へメレーチー大僧正を先頭にエミグラントの長蛇の列はスンガリーの氷上に繰り込む

祭場には水晶をあざむく氷の十字架が立てられ、洗禮場は零下二十餘度の嚴寒に薄氷を漂はせてゐる、正午近くになると數萬の信徒は大僧正以下僧侶の讀經に和して敬虔な祈りを捧げ終つて大僧正が金の十字架を洗禮場の水に浸すや薄衣をまとつた善男善女はざんぶと水中に飛込み、江上を埋める數萬の觀衆は宗教に生きる信仰の凛姿に今更ながら敬虔の念に打たれ、午後二時近く盛大な儀式は終了する

なほ滿映では規模の大きなことでは世界唯一のこの氷上洗禮祭の實況をカメラに收め、滿洲紹介文化映畫に加へるが、この盛儀を見んものと全滿各地から集る觀光客で當日の盛況が豫想される

松花江の氷下魚
魚饑饉の南滿へ登場

北滿名物氷下魚は殆んどダライノール湖（興安北省）から北南滿へ、更に遠く朝鮮方面へも移出されてゐたが南滿の魚饑饉に呼應して松花江からも近く南滿の人人の食膳を賑はすべく送荷することゝなつた、松花江の氷下魚は現在日產四千斤乃至五千斤で數においては大したことはないが、その鯉鮒の味覺は食通垂涎のものであり哈爾濱漁業市場附屬の採魚係では、これを機會に松花江魚を大いに宣傳しようと張切つてゐる

北大生遭難

【札幌國通】北海道日高山脈中の峻峰ペテカリ岳（標高一二五二米）を征服すべく舊臘卅日壯途に就いた北大山岳部員八名が、五日午後大雪崩のため遭難したので救援隊が現場に急行したが一行の運命は絶望視されてゐるなほ北大生の後を追つて八日登山したイタリー人フオスコ・マライニ氏（二九）も同樣遭難したものか十一日に到るも何等消息なきため關係者は直ちに捜査を開始した同氏は昭和十三年日伊交換學生として來朝、北大にあつてアイヌ民族の研究に精進してゐたものである

氷上選手權大會

【東京國通】第十五回全學生氷上競技選手權大會最終日は十日午後六時半から芝浦リンクでフリー・スケチング及びホッケー決勝を擧行したがフイギュアは明大二年連覇、氷球は立教が最後の五分間に二點を連取して明大を打棄りこれ又二連覇を遂げたかくて明大はスピード及びフイギュアに一位を占めて綜合選手權を四年連續獲得し同十時に閉會式を行つた、成績左の通り

▽ホッケー決勝

立教 3 {0—0 1—1 2—1} 2 明大

▽フイギュア　團體＝1明大（四五點）2慶應（三六點）3早大（二三點）4關學（一七點）5立教（一四點）6同志大（一二點）7北大（六點）▲個人＝1有阪（明大）2小林（明大）3高山（慶應）4鹽田（立教）5伊藤（早大）6佐藤（明大）7中上川（慶應）8最賀（慶應）9廣野（關學）10山口（早大）

中銀帳尻（十日）

十日中銀帳尻左の如し（單位千圓△印減）

		前日比增
紙幣	[illegible]	△九
鑄貨	[illegible]	一〇
預金	[illegible]	[illegible]
貸出	[illegible]	[illegible]

・中島測量局長挨拶　測量局長に新任の中島九平氏は十二日新任挨拶のため來社

肥りたい方へ贈る
皮下脂肪の出來る成分の食物を―次は攝生ある生活

どうしたら肥れるか、健康體でありながらやせてゐる人のために、どんな食物を食べたら肥るか考へて見ませう、肥るためには皮下脂肪の出來る成分を含んだ食物を攝ることが第一、それから身體の成分が無駄に消耗されることを防ぐやうに努めることが第二です、それならば皮下脂肪の出來る

成分は 何かといへば脂肪、含水炭素(澱粉や糖分)蛋白質(卵肉、魚の主成分)などです このうち脂肪は空氣中でもさうですが、身體の中でも澤山の熱を出す成分です、それ故脂肪をとると、胃の中で酸化燃燒して體溫となり、すべてのエネルギーの供源となります、また含水炭素は普通の食物の中に澱粉や糖分となつて含まれてゐますが、これも身體の中でよく燃燒して元氣をつける素となり、脂肪として貯藏もされるのです、蛋白質は元來筋肉や皮膚、血液、爪など身體各部の構成材料となるもので、このために使はれた殘りのものが酸化燃燒してエネルギーの供源となり、なほも殘りがあればまた脂肪となつてゆくものです、だからかういふ成分をどんどんとつてゐれば必ず肥るわけなのですが、これを食はず嫌ひなどをして成分をとらないと消化不良のやうなやせた筋肉をもつ身體となるわけです、必ず食べず嫌ひはしない事、これを實行すれば脂肪はどしどし貯藏され、皮膚と筋肉との間に皮下脂肪といふ一枚の着物がふえるのです

それで食物をたくさん食べて、そのおのおのの成分が消化しきれないと、身體は肥えて來るのが自然です、若し澤山食べても肥らない人があればそれは活動がはげしくて脂肪の過剩分が出來ないほどに酸化燃燒してしまふか、または不消化分として排泄されてしまふかどちらかです、成分のうちからみて脂肪になるものを

含んだ 食物を食べることが大切です、そこでふとるためにはどんな食物が適してゐるかといひますと(普通日本人の成年男子を標準にして)大體蛋白質七十五瓦程、脂肪二十三瓦程、含水炭素四百二十瓦程をとれば間違ひないと思ひます、熱量は一日約二千三百カロリーは要するでせう、それから身體の成分が無駄に消耗することを防ぐには不攝生な生活を愼み、徒に精神と肉體をつからせないことが必要です、これを實行すればどんな身體でも肥れるものです

雪の傳說
◇……冬の爐邊夜話

雪を靈物化した、いはゆる雪の精の傳說は多くの國でお互ひに似通つてゐる、雪の精はいづれの民族にあつても、多くは女性である、ドイツの人々は永劫に亘つて盡くることのない高嶺の雪を靈物化して、ヴアージアルといふ雪女となしてゐる、或るとき一人の魔法使がヴアージアルの冠にちりばめた寶石をほしがつて

爭ひもがく 雪女の手から無理やりに奪ひ取らうとしてゐると、ディートリッヒといふ英雄が現はれて、魔法使を雪の女王のお城の窓から投げ落す、雪女はその情にほだされてこの英雄と夫婦の契りを結び、白雪の領土を離れて人間世界に降り住むことになつたが、月日がたつにつれて雪の國が戀しくなり、たうとう秘かに夫の許を離れて、再び白雪の世界に立ち還つたといはれてゐる、不思議なことには日本の雪女に關する一つの傳說が、まことによくドイツの雪の女王の傳說に似通つてゐる、謠曲に美男子で聞えた在原業平が曠野の里の雪ふりつもる野原で、雪女と出逢つて夫婦の契りを結んだのであるが、この雪女もやがて春の日影に消え失せたといふのである

◇ ◇

日本では、雪女の他に雪の夜に大きな笠をかぶつて油買ひに行くと云はれる白粉婆とか、雪の夜に幼ない子供を呪ふと信ぜられた雪婆とが、目が二つで足が一本の雪入道なども生れてゐるが、何といつても一番人氣のあつたのは雪女で、多くの文學に取入れられ、また

繪畫の主題 にも屢とり上げられてゐる、雪女に關しては之を物恐ろしいものとする信仰と優しく哀れなものとする信仰とがある、子供をつかまへに來る越後地方の「雪女郎」行きあつた人間に子供を抱いてくれとか背負つてくれと頼み、人間がその頼みを聞き入れると、忽ち雪におしかぶされてしまふと傳へられる會津地方の「雪女御」などは、恐ろしい方の雪女代表である、在原業平と夫婦の契りを結んだ雪女、嵯峨野のあたり寂蓮法師の庵の近くに現れて、御經の聲に聞き入つた雪女、奧州から攝津國天王寺に參詣する行脚僧が野田の渡しまで來ると俄かに空がかき曇つて雪の精が現れ、お坊さんに讀經をしてもらひ、廻雪の舞ひをまつて消え失せたといふ雪女などは優しく哀れなはうの代表的なものである、考へて見ると、雪そのものが既にかうした二つの方面を具へてゐる、雪は一方から見ると人間を路に迷はせる、またなだれとなつて人間をおしかぶせる、同時に一方から見ると、まことに美しく優しくて、しかも消え易く、はかないものである、雪女の二つの

相異る性質 や、文學繪畫に表れた二つの相異る藝術的表現なども、かうしたところに根ざしてゐるのではないかと思ふ

家庭メモ
スプーンの持ち方について

スープを召上るとき、スプーンは握るやうに持つてはいけません、ペンか鉛筆をもつ心持で持つのです、それからスープの召上り方はフランス風と英獨風とがありフランス風は皿を手前に傾けてスプーンは手前に引いてスープを掬ひ、スプーンの先からスープを口に入れます、この方が日本人には自然に近いやうです英獨風は皿を反對に傾けます

×××タラ子の季節向戴き方×××

鱈子を使つて季節向きの風變りなお料理を二種紹介しませう(材料五人前)

鱈子茶碗蒸し

鱈子五十匁を丁寧に水洗ひし、熱湯に投じて鹽茹にし冷水に取り、充分さまして水氣をきり、裏漉にかけて擂鉢にとり、擂ながら玉子を一ケ宛四ケ割込み、煮出汁三合と醬油三勺、鹽茶匙一杯を入れて加減し、蒸茶碗に靑豆小匙一杯宛を入れその上から玉子汁を注ぎ、沸騰した蒸器にかけて、切蓋をして、凡そ廿五分程蒸し、蒸し上つたら柚子を口にして茶碗臺につけます

ハウレン草鱈子ソースかけ

ハウレン草一把はよく煮立つた湯の中に入れて茹で、之を水につけてさまし、水氣をきつて、根の固い處を切り棄て、長さ七八分に切ります、次に醬油大匙一杯と調味量少々とをまぜ合はせこの中に前のハウレン草を入れて味をつけ、輕く搾つて五つに別け、小丼に小高くもつておきます

× ×

鱈子ソースは、まづ鱈子の袋を破つて、中身の子も鍋にとり、大匙三杯の出汁を加へ、食紅少々を水溶きして加へ、火にかけてかきまぜてゐますと、鱈子が一粒宛はなれて、綺麗な薄桃色のとろりとしたソースになります、之に調味料を少々加へ、火から下ろし、前のハウレン草の上に大匙一杯宛かけて供します

ラヂオ けふの番組
十三日【土曜日】【M・T・C・Y 新京放送局】

朝
七、三〇(新京)建國體操
七、四八(大連)入港船のお知らせ
七、五〇(新京)ニュース
八、〇〇(大連)中等滿洲語講座 秩父固太郎
八、二五(新京)氣象通報
八、三〇(新京)朝の音樂(レコード)管絃樂、舞踊組曲「鋼鐵の歩み」(プロコフイエフ作曲)ロンドン交響管絃樂團、指揮アルバート・コーツ
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東・奉)經濟市況
九、四五(新京)建國體操
一〇、〇〇(大連)經濟市況
一〇、〇五(奉天)幼兒の時間(レコード)音樂玉手箱
一〇、二〇(大連)母の時間「長男と長女」泉初代
一〇、四五(新京)家庭メモ
一〇、五〇(新京)料理獻立
一一、〇〇(新京)食料品値段
一一、三五(奉天)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

晝
〇、〇一(大連)土曜コンサート 室内樂(聖ケ丘室内管絃團、指揮木村遼次)六重唱「ラムメルムーアのルテア」より「ドニゼツテイ作曲」スパニッシュダンス第一番(モシュコフスキー作曲)スパニッシュダンス第三番(モシュコフスキー作曲)愛の挨拶(エルガー作曲)
〇、二〇(大連)歌謠曲(レコード)男のいのち(筑波高)支那の花嫁(樋口靜雄)
一、〇〇(東・新)ニュース
一、〇〇(奉・連)經濟市況
三、三〇(新京)北米西部向海外放送=朝鮮歌謠(黄浦歸帆、白興打鈴、農夫歌、ノートル江邊、春來りなば)
四、〇〇(東・新)ニュース 氣象通報
四、三〇(東京)春場所大相撲實況(三日目)

夜
六、〇〇(東京)子供の時間、うたのおけいこ(一)紀元二千六百年奉祝童謠(日本放送協會選定)平井美奈子
六、二〇(新京)コドモの新聞
六、二五(哈爾濱)初等ロシア語講座 櫻木新吾
七、〇〇(東・新)ニュース 告知事項
七、三〇(東京)國民歌謠 船出の歌
…戰線將士に送る夕…
七、四〇(東京)講演「心からなる銃後の感謝」丸山鶴吉
七、五五(東京)銃後ニュース
八、二〇(東京)漫才 中村春代、砂川捨丸
八、四〇(東京)浪花節「赤穗義士中村勘助」梅原秀夫
九、一五(東京)歌謠曲(伴奏東京放送管絃樂團指揮細川潤一)娘馬子唄(佐藤惣之助作詞、菅原力作曲)夕陽の新戰場(佐藤惣之助作詞、大村能章作曲)愛馬行(陸軍省選定)三門順子 夕陽の丘(内田つとむ作詞、細川潤一作曲)春來る北支(林柳波作詞、田村しげる作曲)廣東の花賣娘(佐藤惣之助作詞、上原げんと作曲)松島詩子 出征兵士を送る歌(陸軍省選定)三門順子、松島詩子
九、三九(東・新)時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇(新京)今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(露語)

代用食と混食
滿洲糧穀會社の話

(二) 七分搗米

	水分	粗蛋白質	脂肪	澱粉	纖維	灰分	ヴイタミン A	B1	B2	D	E
玄米	一三・五	八・〇	二・五	七〇・五	一・六	一・三	○	●	●		●
白米	一三・七	六・七	〇・六	七六・九	〇・三	〇・三	△		△		△
七分搗	一三・一	七・五	一・〇	七三・三	〇・五	〇・四	△又は○	○	○		○
胚芽米	一五・〇	七・九	一・六	七三・六	〇・九	〇・八	○	●	●		○
糠	一二・四	一三・一	自一〇至二五	三七・六	七・三	八・四	○	□	□		●
胚芽	八・五	一七・七	一九・八	三七・二	八・二	八・五	●	□	○	○	□

(備考)□印多量含有●印中等量含有○印少量含有△印含有せず

白米は蛋白質、脂肪が少くヴイタミンBを含んでゐません。玄米は蛋白質、脂肪ヴイタミンは多いが纖維が多く消化吸收が良好でない上に又風味も惡い。胚芽米は脂肪、蛋白質、鹽類、ヴイタミン(A、B、D、E)に富み、極めて榮養價値が高いが、米の品種より胚芽米製造に難易があり滿洲産米の中、胚芽米を作れるものは約一割内外しかないであらうと考へられてゐますかく白米、玄米、胚芽米には夫々長所がある一方缺點もあります。然し七分搗米は榮養上は白米に比べて蛋白質、脂肪に富み又白米にないヴイタミン(A、B1、B2E)を含有し白米に比し風味も惡くなく、消化吸收率も良好であり、搗精もさう技術的に困難でない等の長所があります。一體七分搗といふのは白米搗精に出る糠を一〇〇とし糠七〇で搗精を止めるものを云ふのでありますが、實際上は白米搗精にかゝる時間の十分ノ七搗精したるものを七分搗としたり經驗によつて目測による場合もあり、從つて七分搗によつて生ずる餘剩米の算出は實際上困難であるが、現在滿洲内白米消費量を三百五十萬石とすれば七分搗によつて大約十萬石の節米を生ずることになります。七分搗米の調理方法は白米の場合と大した差はありませんから之は省略します。

(三) 精白高粱

	水分	蛋白質	脂肪	纖維	澱粉	灰分
精白高粱	一四・二	八・五	〇・五	〇・一	七六・五	〇・四
白米	一三・一	六・七	〇・六	〇・三	七六・九	〇・三

榮養―高粱の化學的成分は大體白米に類似してゐます高粱中にはヴイタミンBが多量に含有されてゐますが精白したものには白米同樣Bを缺いてゐます。滿人は石臼で高粱を脫皮して煮て飯としてゐますが、脫皮しなければ消化率は蛋白質が三〇%―四〇%、澱粉九五%で蛋白質の利用率が惡い之は高粱中の色素タンニン樣物質が惡影響を及ぼしてゐる爲と考へられます。從つて高粱を精白して用ひれば消化吸收率も良くなり、この道の大家安部淺吉博士の研究の結果によつてみても消化吸收率は習慣によつて良好となるといふ結論を得てゐるのでありますから精白高粱を日本人が常食として用ひても一向差支へないのであります。精白高粱(文化米と謂はれてゐる)は既に滿人間に多く使用されてをり日本人の食用に不適當と思はれません。安部博士も「精白高粱(文化米)は少しも白米以外の主食に慣れてゐない者にもよく消化吸收されて味の點でも滿點である」と言はれて居ります。精白高粱の食べ方には色々の調理法があります。

米と精白高粱の混炊

一人分
七分搗 一合 七三%
精白高粱 三・七勺 二七%
食鹽 少量 水約三倍半

先づ精白高粱の澁味を除く爲に四〇度位の湯(風呂の溫度位)に浸してしばらくおけば灰汁が出ます。灰汁が脫けましたらその湯を棄て更に新しい湯を入れて二、三回繰返した後、その高粱を一晩別の冷水に浸しておきます。これを翌朝米と前記の割合で混合して一緒に炊けば宜しいのであります若し急ぐ際は高粱を八分程度ゆでておいて、之を米と混じて一緒に炊けば宜しくこの際鹽を少し入れると味がよくなります、炊く時は一度沸騰してから後は火を小さくして一時間位ブッブッ沸騰を續ける樣にすれば、高粱の腹が一粒々々大きく花を開いた樣に膨れて食べ易くなります。尙溫い間に食べた方が味が惡くなくてよろしい。次に米高粱を豫め混合した場合の炊き方に付て述べます。

一、米洗 朝の分は前の晩、晝の分は朝、夜の分は晝に水洗ひしてざるにあげて置いて下さい。尙無砂搗ですからとぎ方を普通の半分位に止めて下さい

二、用意 洗米を釜に移し米一升に付き水一升一二合位の割合で入れ釜の上に布片を水に充分浸したものを二重三重にして載せ其上に蓋を覆せて重しを置きます。

三、火の焚き方 最初よりどしどし燃やし煮立つて布片の處から湯氣が噴出しさうになつた時瓦斯火を小さくして四五分間待つた後仕上焚きを致します。仕上焚は重湯の噴出さない程度で一分間位で結構です。

四、御櫃に移す時期と方法 火を消してから七八分乃至十分位してから御櫃に移します。移し終つたら布片の水を絞つて濕布を御櫃に覆ひぴつたり蓋をして置きます。これは水蒸氣を吸取りまして御飯がぐちやぐちやしないやうにする爲です。以上の樣にすれば釜と蓋とのすきより蒸氣のもれない爲に高い熱度で蒸され、而して仕上焚をすれば釜はだの水氣を去り、尙は全體が一層よく蒸される譯です。

新年文藝二等入選

きれはし

伊藤正次

(二)

ルビーで宮田が木下に話した話は次のやうなものである。

「此度、ある娘と結婚することになつた。X會社の重役の娘で、俺のやうな平サラリーマンには出來すぎてゐる。重役が俺を見込んだらしいのだ。話はばたばた進んでゐるが、困つたことは俺は×病になつたらしい」

「その相談か」

「まあさうなんだ。第三者として俺の去就について考へてくれ」

「うん、まあ待て、今夜は一杯やらう」

「俺はのめない」

「わかつてゐる、つきあへよ」

宮田の知つてゐるといふ銀座新道のカリガネに行つた。

木下が先に入ると多ぜいの男達の間から、いらつしやいませ、と言つた女は朝每に會ふひとであつた。女はエシヤクした。木下は隅の方にすわると、ビールをたのみ、カウンターの女と宮田の會話をきいた。

「美古ちやん、今日はきれいだね」

「まあ、お上手ね」

「今度一緒に映畫を見ない?」

「えゝ、ありがたう。」

やがて一くさり終ると、宮田は別の椅子を美古にもつて來させて、やはり壁際に陣どつた。宮田さんもどうぞとビールをさゝれると今日は身體の調子が惡いのでだめだ、といひ、ぢや無理にすゝめないわといふ女を宮田はぢつとみつめ、木下の隣の人がかへると木下と並んで丸く高い椅子についた。

木下は二本程ビールをあけて、正面を見つめぢつとしてゐたが、急に宮田の方をむくと平手で宮田の頬を強くはりとばし、ものも言はずに外へ出てしまつた。

他の人達は喧嘩かと思つた喧嘩にしてはあつさりしたものだと思つた。美古はぼんやり見てゐた。例の女、章子は宮田の肩に手をおいた。宮田は泣いてゐた。

自分の部屋にかへつて木下は考へてゐた。

「心は戀人に身は娼婦」

こんな言葉があるだらうか

宮田は多くの女達を戀人にしてゐる。商賣女とはつきあつても戀はしなかつた。美しい女を次々と追つて行つた。會社勤は眞面目だつた。それで此度の結婚話だが——

何といふ馬鹿者だ。結婚を前にして×病なんて、恐ろしくきたないお祭りだ。

二三日してから、晝休みを利用して病院に通つてゐる宮田と章子が、中央通りの吉野町入口の所でばつたり會つた。

二人は近くのロシヤ喫茶店に入つて行つた。

「木下さんは何してらしやるの」

「雜誌記者」

「さう」

「ときどき原稿紙に何か書いてゐる」

「何處へ發表してゐますの」

「僕は知らない。だが何しろ變り者でね、夜遲くかへるので男風呂が汚いと女風呂に入り、トンキヨウな聲でうたをうたふといふ代物ですからね」

「まあ」

「それに言ふことがふるつてゐますよ、女はどしがたい×物だが、風呂にのこつてゐる匂はいいし、男よりはキレイ好きだつて。」

「隨分馬鹿にしてゐるのね」

「うん、言はない方がよかつたかね」

カリガネに木下は午後一時頃よく姿を見せるやうになつた。次のやうな話をしたことがある。

「九月頃だつたね、僕は治安部檢閱股まで行くため康德會館前でバスを下りたんだ。そして少し雨も降つてゐるので馬車にのつた。その時は時間がないので、非常に急いでゐた。後から來た馬車に二臺ばかり追ひこされると僕は大きな聲で、『カイカイデ』とどなつた そしたら馬夫がふりかへり幌內をのぞきこむやうにして、ブシン、とにがい顏をした。いやだといふも同然だ。『ブシン?』僕はむつとして海上ビルの裏にあたる邊で、馬車から飛び降りてしまつた。並んでゐる露店で莨を買ひ乍ら僕は馬夫の目を背に感じた。そして洋車をひろふと治安部にいそいだ。ところが順天警察の納木をすませて、雨の中を傘もなく、民生部にゆくため營繕局の橫道へ入ると馬車が一臺靜かに動いてゆくのを見た。それを追越し乍らふとふりかへると、その馬車は康德會館の馬車であつた。

僕は馬夫の目を見た馬夫も僕の目をにらんだ。馬夫はやをら起き上ると僕のそばへ降りて來た。そしてたちはだかるやうにしてから鞭をふつた。ぴゆうといふ音を背にきいた。そして前よりはげしく馬夫の目をにらんだ。すご〳〵と馬夫は引上げて行つたがね。おかげでぐつしより雨にぬれてしまつた」

章子も美古も他の女達も集つて話をきいてゐた。

「話はちがふが、宮田は來るかね」

「この間お會ひしましたわ病院に行つてゐるさうです」

滿系文學展望

(三)

季守仁

△雜誌界

各雜誌への新文藝の進出振りは悉く執拗な追求と眞摯な努力のあとを見せ、康德六年の雜誌界に一異彩を放つた。

先づ滿華廿萬の讀者を擁する「華文每日」を見よう。本誌は滿洲の出版物ではないが

一、該誌の編輯を擔當する系己氏は曾ての滿洲文壇の重鎭で、滿洲文壇の事情に精通してゐる

二、本誌は滿洲作家一致の支援を受けて不斷に滿洲作家の寄稿を受けてゐる

の二點から滿洲文壇との關係は淺くない。周知の通り半月刊の綜合雜誌で、常に優れた作品を滿載して日滿華文藝の交流に努め、一面透徹せる識見を以て文藝の赴く途を示してゐることは滿華文壇の羅針盤ともいふべきであらう。

文壇備忘錄的の內容を持つものに、既載の「四十年來日本文筆人」(許顗氏ほか多數執筆)掲載中の「滿洲靑年文筆人」(夢庚氏執筆)があり、このうちから幾多の資料が見出される。

これ等は現代文壇の具體的紹介であり、他日貴い資料となるべきものだ。

映畫脚本には方之夷作の姉妹篇「亂世鴛鴦」「同命鴛鴦」があり共に覇氣に滿ち溢れた靑年の生活を描いた佳作である。創作としては林緩の「羔羊」吳瑛の「如意姑」梅娘の「在雨的沖激中」舒柯の「淸明節」等は滿洲から寄せられた作品だ 詩には系己氏の「傍晚之家」あり、流浪者が十年にして懷しの我家に歸つたといふテーマを犀利な觀察と巧緻な技巧によつて千行近い長詩に物してゐる。對話劇には白樺の「齒科醫生的家庭」があり、散文の白芷、金音等の作品は定評あるものである。

文壇隨話は文壇の鮑であつて曾風、史策、紅筆、吳郎、蔣山靑等が主に寄稿し滿日華三國作家の動きを絶えず載せてゐる、今後各文藝部門の中核となつて大陸文壇の牛耳をとつて貰ひたいものだ。

「健康滿洲」—この滿洲文藝の種子は滿洲文化に多大の關心を持つ守山淨(日人氏森幸雄君)が播いたもので、今では世如が入社して編輯陣を充實じ滿洲新文藝の興隆に貢獻してゐる。本誌所載の長篇作品には吳郎の「斷續曆」短篇には舒柯、吳瑛、夷馳、小松、隨筆には楊絮、雪笠、陳蕪、梅櫻等が筆を執つてゐる。

精神の健康を以て肉體の健康に代へるといふのが編者の一貫した方針である由理想的な洗練された健康雜誌として、我貧弱な滿洲文壇に一異彩を放つてゐる。健康な思想によつて光を求めることはまだ程遠いことではあるが、勁い力で健全な作者を糾合することは、本誌の今後進むべき途であらう。

「新靑年」—歷史ある綜合雜誌、この一年間每月文藝方面はなかなかの豪華版であつた。逐年進步のあとを見せて、整備された編輯ぶりは新文學運動のシンパである。

雜誌界長老の貫祿は各層作家の作品をよく集めてゐる、これが本誌の特長であらう。この一年間に發表されて文壇に寄與したものに長篇「麥」(爵靑作)と石軍の「債」短篇に舒柯・崔束・夷馳・爵靑・老翼、詩に成弦・金音・兜喃燕の作がある(但し「麥」は中途で停筆)發表作が悉く成功とは云へぬが少くとも皆堅實さを持つてゐる。この點からして崔束の「家行記」と「蠅」は確かに推賞に値する。これも偏へに編輯者雪竹が獻身的努力の賜、發行期を嚴守し文藝論に充實を見たなら、理想的なものとならう

過去の「興滿文化月報」に付ては何も述べまい。革新後のものは體裁內容共著しく「新靑年」に似通つてゐる。編輯については天馬が、舊套を脫し將來を慮つて、新陣容を整へ滿洲文壇推進の一翼たらんことを期してをると云はれ、文壇のため喜ばしいことだ。

改革後の本誌には創作に石軍の「早春」崔束の「一個人記」石雷の「孩子們」隨筆に未名の「暗屋隨筆」が目立つ。

なほ最近歷史小說が滿洲にも流行し幾つかの詩や創作が見られたが、私としてはそのうち本誌所載何所作「秦政一代記」を推したい。本作品は新しい歷史と情勢を科學的に編述してゐる點、滿洲文壇創作上最大の收穫と稱するに恥ぢない。

「滿洲映畫」—從來映畫雜誌は殆ど低俗趣味に墮して去つてゐたものだ、グラフと云へばスターの大腿、記事といへばスターのゴシツプや桃色記事—まあこれが讀者に受けてゐたのではあつたが—然し「滿映」はこの點可成り違つてゐる。

もともと映畫雜誌なのだから「滿映」の滿洲文壇に占める地位如何といふことは頗る難しい問題だが編輯者は常に文藝の使命を念頭より去らせることなく巧みに脚本文字を培養してゐるので、この意味から文壇に獨特の地位を占めてゐる。

脚本文學は多少なりとも或種の企圖をもつて制作されその企圖は充分時代を反映することに成功はしてゐないが、或程度の忠實な時代描寫は認められる。主要な作家は悉くこの徑を辿つてをり、金音の「大院風景」を代表作として擧げることが出來る。

また本誌は映畫の理論と批評を文藝的立場よりするのでそこに各筆者の文學上の素養が現はれる、映畫論としては胡備の「電影的新傾向」周門慶の「編劇三題」等が勝れ、その他火文・木公・六代等の上海映畫評もみるべき文字だ。

「斯民」—民生が擧げて不安に職く現代に光を求め、力を希ふことは非常な難事ではあるが「斯民」は全作家に敢然これを目標に起つことを求めてゐる。本誌は過去、現在、將來にわたつて凡ゆる難關を突破し新文學の結實を助けてゐるのである。

この一年「斯民」によつて新たに文壇に登場した作家には崔束、金展、陳蕪、胡琳があり、魔女・冷歌などは「斯民」の方針に感動して寄稿を再開したために本誌は活字を下げて揭載に努めた有樣だ。

短篇作には金展の「[illegible]」崔束の「高六子」吳瑛の「誘」「拆」文歲の「古墓」小倩の「拉加」山丁の「星散之群」舒柯の「秋」金音の「四個之蔴布的照像」詩の理論には鄭山の「滿洲詩壇的烏」(これは詩の過去と未來について詳細な紹介と分析を試みた立體的觀察である)作詩には魔女・里雁等、散文には陳蕪、平凡の作があり・連載中であつた革布の「大荒」は昨年完結した。

「大荒」は正確に時代の觀念を寫してはゐないが、技巧の末に墮して自己陶醉に陷るの過ちを犯すことなく、平凡なテーマを素朴な筆致で追求解明してゐるところが特長である。

「斯民」はまた滿洲作家の動向にも大きな關心を持ち昨年七月一日號から半月文筆情報を揭載し始めた。記錄などの少い散漫な文壇に寄與することが少くないこの新しい年には本來の使命を忘れぬ程度に、新計畫の實現を期してゐるといふ

其他「商工月刊」は曾て韓護が擔當してゐた頃は中小商工業者の文藝作品を努めて揭載し一特色を現はしてゐたものだ。其の他官公署、會社の出版物に時として文藝の頁を散見することもあるが、本質的な文藝とは可なり距りがあるのでこゝでは觸れまい。

初日のぼる

佐佐木信綱

初日のぼるもろこしの海に陸にして初日のぼる空を仰ぎつゝあらむ

天地にひろごりおそふあらし雲今新らしき光は生れむ

あじあ人あじあのあじあ興すべき時來る天に日はかがやけり

國意ひとつ國なる新國の生れむ春になりにけらずや

花櫻ほほゑむ花の蔭にしてひとも我も共に手とり語らむ

頌春譜

土屋文明

歌よみて歌を記さむ紙だけはこと缺かざれど世をいのるかな

戰よりかへりし友のマラリアの早く癒えよと世をいのるかな

から鮭も餅もあれば心足りかたじけなくして年を迎ふも

戰ひて三年の國にたたかはぬ吾れ家族もちて年を迎ふも

官人威張るときけどかかはりもなくて貧しく年を迎ふも

弛緩を見る

福家富士夫「哈爾濱の顏」(「滿洲行政」一月號)

この小說はあまりこの作家の名譽になる作品ではないやうである。哈爾濱に遊び、官吏になつてゐる舊友に會ひ、また或る開拓村に視察に行つたりする話が書いてあるのだが、主題に對しての熱情がなく妙にしらじらしい。哈爾濱に住む人たちの生活振りを批判しようとした意圖も見えはするが、それも不徹底なのである。つまらない旅行の、つまらない記錄と言つたもので終つてゐる。

滿人社會と混り合ふ日本人の場合などを描いてあれだけの打ち込み方を見せた作家だとはとても思へないくらゐなのである。これでは困ると言はなければならない。弛緩を蔽へない。(御垣衞士)

文藝時評

—滿洲文學第四輯—

(2) 遠藤美津男

同人作品評

木谷朝夫「文學と科學と宗教と」

古來から謎とされて來た眞理への、文學を象徵とした觀念論ならば大問題を探求し論議するほど論者の態度は立派であると想ふ。が文學と科學と宗教とは、あまりにも大問題であり論者も一體何を論じようとしてゐるのか解らなかつたであらう。それにこのやうな問題、即ち眞理への文學科學宗教等の學問的論證は既に幾多の哲學書文學書のはんらんする現代に於て讀者は觀念的に論じた新しき問題が出現しても驚かないのみならず論者の貧弱な思想に同情する。しかし私には木谷氏の論じようとした氣持はよく解る。それは所謂木谷氏の文學論である。人間がほんたうに生きる上には文學も科學も宗教も眞理を探求するものにほかならぬ。そして文學は科學も宗教も含めた思想であると云ふ論題は非常に大きな問題である。文學だけでも學問的思想的に論證することが既に觀念論である。しかも論者の思想が形而上學的でなく隨想的である故に、これは意味のないものとなつてしまつた。しかも文學と美學とを論じて「トルストイは美の上に樹てられた文學論に痛烈な批難を浴びせてゐるが、それは美を單なる快感と看做した所から來る戸惑つた議論である」とトルストイを一蹴「人類に眞理への欲求の絶えない限り、文學は美を溫床としなければならない」と主張する木谷氏の論法は形而上學を知らぬ暴論である。しかしこれと同樣な異常な論法による木谷氏の意見と主張は大問題の論爭をも想はせてその熱烈な眞實性は、この一篇を觀念論に過ぎぬときびしく批判しても論者の態度を高く評價したい。また近來この樣な文學の大問題に勇ましくも立ち向つた他の論文あるを私は知らない。

淡路正彥「民族、海を渡る」

滿洲でなければ生れない樣な、民族、海を渡る大詩情を歌つたのであらうが、少しも意味をなさぬ斷章と斷章の接續した散文詩であつた。さつぱり意味がない上に妙に感傷的である。要するにこの詩は死んでゐる。詩調が不自然とならぬ樣に詩想を整理した後に詩作すべきであつた。

絲川貢「くだらない詩」

一寸面白いがくだらないと感じたものをそのまま表現しただけでは詩精神がない。くだらないものからも高められる思想が望ましい。くだらない〳〵と言ふだけでは悲しい人生の自己安住であり、つまらぬデカダンイズムである。探求精神と理想を詩精神としたい。これは詩精神なき現代の純文學的流行歌である。絲川貢氏はデカダン流行歌をつくるべきではない。

西谷正夫「ちくび」

ちくびを想ふなんてへんにも考へられる。一種の精神異常者であるとも想へるだが女性の美しいちくびに妄想を逞しく働かせて詩をつくる西谷正夫は天來の詩人である。西谷はなかなか詩を濫作するが、ときには佳作が生れる。この「ちくび」はそのやうな佳作の一篇であつた。

□　□

同人創作評に移るが、親しい同人の創作品を讀み、想ふ限りの惡評をする決心をした。私は人の作品を容易にほめることの出來ない人間である。それは私の文學批評の標準が非常に高いからである。高磯光、川口了、砂山楠雄君等はそれぞれに副輯より、佐和山一郎君のは徐々に各個人の方向が定つて來たやうに想はれるのである。

新刊

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△第三組織論(小山貞知著)著者が提唱する時局對策について論述した一書である(大連、滿洲評論社 五十錢)

△滿洲觀光聯盟報(一月號)平野博三「觀光機關の充實と鐵道」大內隆雄「旅と文學」等(奉天、滿洲觀光聯盟)

△滿洲遞信協會雜誌(十二月號)國都特輯號として見るべきものも多い(滿洲遞信協會、二十五錢)

△茶經(一月號)茶道研究雜誌(廣島市宇品町七三四、百姓社)

△力行世界(一月號)(東京市板橋區小竹町、力行世界社、三十錢)

△鑛工滿洲(一月號)鑛業各面についての記事を盛る(新京、滿洲鑛工技術員協會、三十錢)

△コトバ(一月號)國語生活の將來、大陸經營とわが言語政策についての特稿を盛る(東京市込區若宮町一六、國語文化研究所、三十五錢)

△紀元二千六百年(一月號)(紀元二千六百年奉祝會)

△紀元二千六百年(神社號)(同上)

△糧友(一月號)(東京深川、糧友會、三十錢)

△新大陸(一月號)(新京、新大陸編輯部、二十錢)

△昭和十五年滿支旅行年鑑 滿洲支那旅行について最も信賴するに足る資料を盛つた一書(奉天、ジヤパンツーリスト・ビユーロー、一圓三十錢)

△漫畫滿洲(第四號)愈よ充實した內容を見せてゐる(新京、漫畫滿洲同人社、十五錢)

△政經時評(一月號)(東京、江原戸越町、政經時評社)

強い子を生む秘訣

母體の榮養不足が虚弱兒童をつくる

生めよ育てよ

子供が生れつき身體が弱くて困ります——と嘆いてゐられるお母さんをよく見掛けますが、一寸待つて下さい、何も知らない子供に罪を被せるのは可愛想。その子供がお腹の中にゐる頃の母親の健康が問題なのです。

姙娠中の婦人は二人前

胎内に胎兒といふ別な生命を育てねばならず、つまり一人で二人前の生活力を必要とします。即ち榮養の攝取にも、病氣への抵抗力も何も彼もが二人分の力量を要する譯で、此れが完全に行かなければ大切な健康第二世は得られません。處が事實は此れと反對で、姙娠中の婦人には惡阻だとか、それに伴ふ食慾不振だとかの障碍がつきもので、そればかりでなく、肋膜炎などの既往症のある人は、此等の健康障碍の爲に結核、姙娠を機會として再發する危險性が生じるのです。それを姙娠は病氣ではないから多少の不快さは當然だと好い加減な手當で濟まして置くと、思ひきや、此れが不測の禍因となり、姙娠ばかりか愛兒すら

闇から闇へ送り出す

二重の悲劇を演ずる結果になるのです。二度三度の流産癖はともかく、初産の方に此の種の結末が多いのは事實で、その原因はお産に慣れぬからと云ふだけではなく、お産だけを重大に考へて姙娠中の攝生を怠る爲の失敗が多いでせう。長い職業婦人生活を續けてから家庭に入つた人、現在職業に携はりながら姙娠した人等には稍もすると誤つた近代的な輕い氣持からスポーツや業務などを平氣で行ひ、食物障碍から榮養缺陷に陷つても割合ひと平氣のやうですが、先にも云つたやうに禍因は此所にあるのですから、充分に注意をしなければなりません。殊にスラッとした

柳腰蛾眉の麗人は

體質が弱く、平素病弱な人は子宮や產道の抵抗力が弱くて何れも一般にお産が重いとされてゐます。尤も文字通り案ずるより産むが易しで、弱々しさうな婦人でも存外安楽にお産をする事もありますが、此れは體質が丈夫で、偏食をしないから惡阻の害もなく、榮養狀態が佳良な場合に限りますから、姙娠中は何と云つても胃腸の健全、榮養第一義に氣をつける事です。此の場合、食養生、勞働業務を避ける等と共に、缺かす事の出來ないのは綜合藥用酵母劑若素（わかもと）の服用であります。姙娠中はカルシウム、ビタミンBを多大に必要とし、ビタミンBが不足すると胎兒の發育が停止し、これが流産の原因ともなるもので若素（わかもと）は、此のビタミンBを可及的豐富に含有し、カルシウム、ホルモン性物質等

姙婦に不可缺な藥

榮養を濃縮した藥劑ですから、姙娠中の榮養補强には實に最適の榮養劑で、主成分のヘーフエ菌及びアスペルギルス菌と云ふ微生物が惡阻等によつて衰弱してゐる胃腸の細胞膜内に浸透して機能を强化し、消化、吸收力を旺盛にする力がありますから、特殊の榮養劑を用ひる必要がなくして日常食物中から充分な榮養分を吸收し、母體の組織を强め、抵抗力を增して安産に導く效果が大であります。又、姙娠中は運動不足と胎兒が胃腸を壓迫する結果、消化不良や便秘を必然的に招きますが、此れも若素（わかもと）による細胞の自力賦活により容易に防止、恢復することが出來ます。

身心の榮養

健康一寸會

女優 市村延見子

次の興行へ移る前に一週間ばかりの小閑を得まして、珍らしく朝起きをしまして、暫く伺つたことのないラヂオの朝の修養時間に間に合ひ、中村先生の『日本書紀』の御講義を拜聽して居ります。と御贔屓にしていたゞいてゐる某氏がラヂオのテキストに添へて友朋堂版の『日本書紀』を持つて來て下すつて、特に此處を御覽と次を開いて指し示されました。

『天鈿女命、則手持二茅纏之矟一立二於天石窟戸之前一巧作俳優云々』『通說』では名古屋山三と浮名を流した出雲の阿國が日本俳優の先祖とされてゐるが、實は

これでも願り判る通り神代の昔に俳優なる言葉が用ひられ、由緒正しき祖先を持つてゐるんだ。しかも鈿女命にしても阿國にしても共に女性であることを考へても、日本の女優さんはもつと／＼自信を高めていゝ筈だ。幸ひ貴方なんか、頭山満先生、長谷川伸先生、松楣風先生等といふ日本一の後楣がついてゐるんだから、その方々の御期待に添ふだけでも日本一の女優になる必要がある！』と心から勵まして下さいました。

私は何だか、勿體ないやら、恐ろしいやら、嬉しいやらで思はず涙を流して了ひましたが、せめてその萬分の一でも御恩報じをしたいと思つて深く／＼決心いたしました。

かうやつて女だてらに小さいながらも一座を率ゐて居りますと、人一倍心身を勞する機會が多うございますので、日頃から精神の修養と、身體の榮養の二筈に心を砕いて居ります。

ところで身體の榮養に活性藥用酵母劑『錠劑わかもと』が一番よろしいことは、この二三年の經驗に徴して明かでありますので、積極的に一座の者にその愛用を勸めて居ります。

子供に間食は必要か？

正しいオヤツの與へ方

間食は必要なものか、又は不必要なものかと云ふ事は屢々問題になつてゐますが、大人ならばいざ知らず、著しい成育をしつゝある子供にとつては、間食は必要だと認めるべきが至當でありませう。間食が不必要だといふ人の中には、衞生上有害だといふ說と、無くても濟むものだと云ふのとある樣ですが

有害

だと云ふ論據は、榮養は三度の食事によつて充分に攝る事が出來るといふ點と、間食をすると正規の食事が美味しく、且つ充分に頂けないから榮養上に害があると云ふ二點が主となつてゐる樣です。食事のみで充分に榮養が攝れるか攝れないかは勿論問題ではありませんが、間食には正規の食事に含まれてゐないか、又は極く微量しかない或る種の必要な榮養分を含んでゐる場合が屢々あり、此の場合は、間食は子供にとつて榮養の缺陷を補ふ意味から是非とも必要だと云ふ事が出來ます。だから間食を攝りすぎた爲に食事が不味くなつたと云ふのは、問題は間食の評價にあるのではなく

量が

不適當と云ふ事になり、間食そのものに反對する理由はありません。即ち、間食の害は、多くにその量と質の不適當から起るもので、與へ方を得て居れば、間食は必要でこそあれ、與へて惡いと云ふ事は決してありません。

我國では三食で、食事と食事の間の時間が割に長く、此の意味から云つても子供には間食を與へる必要があります。回數は先づ午前十時頃と午後三時頃の二回が恰度よろしく、通學兒童の場合は午後に一回だけでよろしい。夕食後は成るだけ與へない方がよいでせう。

分量

は子供の年齡によつても違ひますが、夕御飯に差支ない程度を考へて頂けばよいと思ひます。最後に質の問題ですが先づ第一に消化のよいものを選ぶこと、それもお菓子類よりも果物の方をお奬めします。但し未熟なもの又は古いものは危險ですから、與へる前に充分に吟味しなければいけません。今一つ忘れてはならぬのは小兒の保健劑として定評のある若素（わかもと）を與へる事です。此の藥は子供の發育素であるビタミンB群や、リヂン、ヒスチヂン、トリプトファン等、牙を强めるカルシウム、グリコーゲン等の貴重な榮養素を濃厚に含んでゐるので子供の

發育

增進と榮養充實には著效があります。其等の榮養素が身體の各機能を旺盛にするばかりでなく、お菓子類の食べ過ぎで起る腸中毒と云ふ榮養障碍も除かれます。又强力な消化酵素を含んでゐますから食物の榮養分を完全に消化吸收する作用を助け、極めて自然的に榮養の向上を見る事が出來ます。

この若素（わかもと）は東京市芝公園大門わかもと本舖榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入、一〇〇瓦入、二七〇瓦入等が一圓九十錢、一圓六錢、小兒には二三錢の濟戰で發賣されてゐます。尙滿洲、中華民國の各藥店でも取次ぎ販賣して居ります。

賀正

新區制のスタート！全市一齊に戸口調べ

戸籍代りの戸口簿を調製

市政の更始一新

國都の飛躍發展に即應し既報の如く市公署は舊臘懸案の行政區劃改正を斷行、區事務所の擴充強化を圖り新春を期して新機構のスタートを切つた、而して近く區長の任命と共に區事務所の

陣容

を整備愈よ充實した新らたなる態勢による活躍の幕を切つて落すこととなり今後の活躍を大いに期待されてゐる折柄、新區制に成る第一事業として市公署は近く全市の一齊戸口調査に乘り出す筈で目下具體案計畫中であると言ふ、即ち戸籍法のない滿洲國の戸口調査は從來警察によつて調査されて來た、殊に移動頻繁な

國都

の如きはこれが調査の正確を期し難く常に當局の惱みの種となつてゐた、然し戸口調査の正確を期する事は諸政運用の根幹をなすものであり、とくに區政の圓滿なる遂行を期せんとするには正確なる戸口調査に依つて始めて可能と言ふべきである、かく更始一新の態勢になるスタートは先づ諸政運用の基本となる戸口調査をと、全市各區各町會總動員の下に來月上旬を期して

斷行

次いでこれが終了と共に各町會に戸籍簿に變はる戸口簿を設ける意向でその成果は一段と期待されてゐる

協和懇談會 初の顔合せ

從來の警民懇談會を協和懇談會と改稱した初の顔合せ懇談會は來る二十五日正午から首都警察廳並に首都本部にて瀧本警務科長、各署長、市公署幹部、民間側から區町長有志多數參集の上開催されることになつた

留日學生の先發隊

民生部派遣の本年度日本留學生二百三十七名のうち百七十七名は民生部理事官呂俊福氏に引率され十四日午後三時二十分新京驛發列車で大連經由渡日するが同日は午前十時から民生部講堂に留學生壯行會を開催、孫大臣、田村教育司長の訓示諸種の注意、晝食などあり青雲の志も晴れやかに出發する、なほ殘りの留學生は學業終り次第隨時出發する

三笠町事件の 捜査街道は險し

占めた！ 眞犯人にそつくり

またも水泡 啞問答に手古摺る

指令を受けて八方に飛ぶ捜査班員の必死的布陣にも拘らず事件發生以來既に七日杳として逮捕の手掛りなく事件の迷宮入りをさへ傳へられてゐる三笠町殺人強盜事件は、刻々に齎らされる飛報に連日

秘策

を練る捜査本部では捜査第一期最終日の十一日一段の緊張振りを漲らせて早朝から捜査班員を八方に繰り出して活動を續け身を切るやうな寒風に晒さへ交へた十二日午後零時半頃『金指環三點を所持して頭部に負傷した男が夫婦連で投宿してゐる』と云ふ噂を探知した四道街捜査班出浦刑事はソレッ！とばかり班員とともに小馬路門牌七一號永升客棧に駈けつけ宿帳を調べると事件發生一日前の五日に投宿、吉林河內街綏胡同手藝職盛燕斌（二五）妻盛何氏（一九）と記入してあり、宿主の陳述を綜合すると犯人とピッタリ

符合

する點があるので居室に押し入り本人を取調べると百圓紙幣一枚、十圓紙幣三枚、五圓紙幣二枚合計百四十圓在中の財布を所持し居り、指環の出所について訊問すると盛は聾と來てゐるので調査が思ふ樣に運ばず係官を手古摺らせたが取調べの結果吉林河內街に居住してゐたもので妻の何氏と實父の折合が惡く遂に二人手に手を取つて來京所持金も乏しくなつたので何氏が娘時代に買つた金腕環一對を大馬路の新美華金店に三百八十圓で賣り拂ひ、金指環二個（八十圓）を新調した事が判明、尚ほ頭部の傷は十二日午前九時頃南嶺居住の李樹森に吉林當時融通した金六圓を請求に赴むいた際李に毆打され

負傷

したものである　一方同室捜査に當つてゐた係員も容疑資料を發見せず彼の申し立に僞りなしの太鼓判が捺された今度こそは眞犯人だと意氣込んだのも束の間、懸命の努力もまたもや水泡に歸したが、捜査陣は一層志氣を鼓舞して涙ぐましい活動を續けてゐる

護國の英靈に感謝のお通夜

けふ喪の凱旋、赤誠籠めて送りませう

十二日西廣場滿鐵倶樂部に安置された護國の英靈〇〇柱は、しめやかな中にも市民の心からなる弔意と敬虔な感謝とに護られ嚴肅な一夜を明かしたが、十三日午前九時四十分安置所を出發蓬萊町を東へ中央通に出で驛に向ひ、十時三十分發列車で一路南下、聲なき凱旋をするが、市民は、昨日と同樣弔意を表し弔旗を揭げると共に驛への御見送りには多數參加されたい

空務協會座談會　滿洲空務協會では日航森歐亞部長を迎へ十二日午後一時半から國防會館に座談會を開催、軍關係者を初め內海航路司長、滿航幹部、林部空務協會專務理事ら廿餘名出席し過去二ケ年にわたり獨逸をはじめ歐洲各國の航空界全般を視察歸朝した森氏を中心として各自世界航空界の現在、將來に關して意見の交換を行つた

于治安部大臣 グ駐滿武官を招宴

十二日午前十一時四十二分新京驛着のぞみで來京したグ駐滿獨武官は午後六時より中央飯店で開催された于治安部大臣の招宴會に出席した（寫眞は〇印治安部大臣×印グ武官）

第一段の捜査打切る

有力な手掛り摑む 捜査本部首警へ

全市、近郊に配置された捜索陣に依つて有力な手掛りを續々と發見し檢擧は時の問題と見られるに到つたが現場附近に於ける捜査資料を充分確保し得たので舊正を目睫に控へた首都警察廳では各署管下の事件發生を考慮し茲に第一段の捜査を打切り事件發生と共に設置された中央通署內の捜査本部を本廳に移牒して犯人捜査に當ることになつたが十二日早朝以來全市に繰り出された捜査班不休の活動により更に有力な新事實を得たもの丶如く本部移牒とともに本事件は更に有利に展開する模樣である

新入學 期日までに必ず願書を

兒童と園兒募集要綱

新京特別市日本小學校組合では本年四月新入學の小學校兒童並に幼稚園園兒を左の如く募集するが整理上期日迄に必ず願書を提出して貰ひたいと

一、募集區域　新京特別市

一、入學兒童並園兒の年齡　（1）小學校（自昭和八年四月二日至同九年四月一日出生者）（2）幼稚園（自昭和九年四月二日至同十年四月一日出生者）

一、募集人員　一五〇名

一、入學願書受付期間　二月十日より二十四日まで

一、受付期間　受付は何處の學校でも取扱ひ入學すべき學校は願書受理後確定次第追つて通知する

なほ入學願書には戸籍謄本若は抄本を添付の上保護者の印を必ず捺印すること若し出願期間內に戸籍謄本入手困難の場合は兒童の生年月日を證する種痘證明書等を以て一時之に代へられる　幼稚園は募集人員を超過すれば身體檢査後抽籤に依り入園兒童を決定する

娛樂も國策調

麻雀同業組合の自肅

新京麻雀同業組合では十一日午後一時より本年度組合總會を開き業者間の自肅自戒並びに大衆娛樂としての使命遂行に邁進すべき綱要を確立し諸物價高騰の折柄にも不拘從來のゲーム代即ち八年以前の料金を持續する一方國策に副ひ娛樂報國を自覺し間接に時局に貢獻せんとする等種々協議を遂げるところあつた、尚同組合では一昨年三月以來毎月本社を通じて國防獻金を續けてゐるが本年は特にその獻金報國に努力を拂ひ取締當局に對しては聊かの懸念なき樣組合員一同結束對處方針を爲すところあつた、新役員は左の通りである

組合長　靑木（綠一色）
副組合長　繩田（吳越）
會計　佐々木（大三元）

防犯照明を 八十餘個所に設く

中央通署から電業へ打合せ

犯罪未然防止には先づ第一に街路の明るさが肝心とあつて中央通署では既報の如く管內の眞暗き場所調査に乘り出したが、大體明るいプランは東五條通以東即ち吉野町六、七丁目、三笠町六、七、八丁目、富士町六、七、七丁目、日乃出町六、七、八、九丁目に七十又は五十燭光を八十餘個所に新設することゝなり、十三日係官はこれが設置に關して電業會社と打合せをすることゝなつた

阿片亡者の騙り損ね

監視員買收の奥の手も駄目

十二日午後二時頃中央通署衞生係へ麻藥購入許可證書を替へに來た祝町四ノ八馬車夫周雲鵬（三二）は自分以外に妻周劉氏（三二）ならびに兄周鴻飛（三四）兩名の許可證を差し出し書替へを懇願したが、同係では許可證の本人が來なければ絕對駄目と云ふのに

妻や兄は病氣で寢てをり大變困るから是非書き替へて下さい、なんだつたら家へ見に來てもいゝと哀願するので監視員をして周を同伴實情を確めに赴かせたところ、周は途々惡事露見を恐れてか監視員を買收せんと二十圓を摑ませやうとしたが果さず却つて公文書僞造がばれて逃げんとするのを引ッ捕へて同行した、即ち周は狡智を以て小遣錢稼ぎをなすべく一策を案じ、やもめのくせに男女の寫眞を手に入れて女房周劉氏兄周鴻飛の兩架空身內を作り、麻藥許可用紙を手に入れて僞造の上毎日六瓦（一人一日二瓦）を購入二瓦を吸、飮殘りを密吸飮患者に三、四倍の値で密賣資本なしで甘味な麻藥に陶醉する傍ら勞せずして生活費を稼いでゐたもの、同係では吸飮の時間が來たとふらふらとなつて訴へる周を市立戒煙所へ強制收容した

全日本の氷上制覇へ

新京商業七選手晴れの出場

新京商業學校アイスホッケー部は昨年全日本中等學校氷上大會で優勝、本年も亦同大會に出場豫定であつたが本年は二千六百年記念として、全日本氷上大會、明治神宮競技大會がそれぞれ一月廿六日より三日間、二月二日より三日間、前者は東京に於て、後者は上諏訪リンクに於て擧行されるので、主力をこの方面に向け去る四、五日奉天に於いて擧行された前記兩大會滿洲豫選會に出場して優勝し滿洲代表となつたので、一月二十日中島教諭引率の下に女池、大西、中、松本、吉武、井手の六選手が全日本制覇を目指して出發することゝなつた、尚同校では滿鮮對抗アイスホッケー戰に十二日同校生徒富田選手を參加させた

第二回各個所氷上大會十四日

第二回各個處氷上大會氷球競技は十三、四兩日擧行の豫定であつたが參加チーム少なき爲め十四日午前十一時から左の組合せで開催に變更された

△準決勝＝電業對滿鐵（午前十一時）拉式軍對鑛業（午後一時）△決勝　開發（午後三時）

阿片斷禁を 定量減で誘導

阿片斷禁國策の徹底を期する首都警察廳衞生科では阿片吸飮者の自然撲滅に主眼をおき、從來の吸飮定量を一份づつ減少させる方策をとることになり新吸飮定量を左の如く決定十一日から實施することになつた

舊吸飮量	改正吸飮量
六份以上	四份
四份同	三份
三份同	二分
二份同	一份

滿洲國建國以來興安嶺下に

蒙古青年層に燃える向學心

希望に輝く額德巴利期君

新京醫大へ最初の入學

王道樂土を憧憬しあすの蒙古建設にいそしむ蒙系青年層に民族協和の聖業に馳せ參んぜんとの向學心がとみに顯著となり關係方面の注目をあつめてゐるが、蒙古地方の衞生思想が非常に低いため疫癘に冒され病死する多數の同胞を目のあたり見て、健康蒙古確立の大志に燃え全滿最初の醫學生として新京醫科大學に入學した白皙の一蒙古青年がある　この青年は興安南省札齊特旗生れ興安東省札蘭屯師道學校出身の額德巴利期君（二一）で昨秋十一月十一日から三日間にわたり施行された同大學入學試驗に唯一の蒙古青年志願者として參加、八百十名の滿系受驗者に伍し堂々優位の成績をもつて晴れの合格者六十名の一人に選ばれた秀才で目下同校で熱心に豫備教育をうけてゐるが、四月日系學生の入學と共に日滿系學生と机を並べて醫學研鑽に努力することゝなつてゐるが語學その他の障碍をものともせず來る日の光榮胸に懸命に勉強してゐる【寫眞は額德巴利期君】

東西伯仲の接戰

橫綱、大關は堂々の貫祿 春場所二日目

【東京國通】春場所二日目の十二日は相變らずの好景氣、學生生徒に開放した四階席は小學生が陣取り、棧敷には外國武官がズラリとならんで「日本の國技」を熱心に觀戰、土俵上も熱取に活氣橫溢、西の關脇安藝ノ海、東の小結玉ノ海が又も黑星を頂戴したが、橫綱大關は堂々たる強味を發揮して貫祿を示す、勝負左の通りであるがこの日藤島取締は初日の三千五百餘名の純益金五千七百圓を持參し忠靈顯彰會へ獻金した

神東山（寄切り）桂川
藤ノ里（打棄り）幡瀨川
櫻錦（押倒し）小島川
倭岩（寄切り）小松山
九ケ錦（寄倒し）大和錦
龍ノ里（下手投）四海波
源氏山（打棄り）駒ノ里
鶴ケ嶺（吊出し）一湊
松浦潟（寄倒し）出羽花
出羽湊（下手投）大湖
大浪（送出し）鹿島洋
磐石（吊出し）兩國
肥州山（打棄り）照國
笠置山（寄切り）金湊
楯甲（押出し）松ノ里

松ノ里突いて立つを楯甲巧みに拂ひのけたが松よく陥を見て双差し事面倒と楯甲小手投を試み殘るを筈に當て押出す技に於て楯甲に一日の長あり

五ツ島（寄倒し）富士嶽
相模川（突出し）玉ノ海

組まれては勝味のない相模川は最初から猛烈な鐵砲を玉ノ海に浴びせ玉よく靑柱まで逃げたが及ばず最後の二發、三發の巨砲を喰つて土俵下に顚落相模の突張りは仲々恐るべき威力がある

佐賀花（寄倒し）綾昇

一合して右四つ綾腰を落して吊身に出れば佐賀も同時に吊身となり黑柱に迫り一回轉今度は綾打棄らんとするを佐賀よく腰を落し寄倒して勝つ

名寄岩（下手投）龍王山

突合ひ右四つ兩者吊合ひ赤柱に迫り名寄强引に下手投を打てば龍踏越して負け

巴潟（突落し）安藝海
羽黑山（突出し）綾若

激しく突合ひ綾防戰しながら喰ひつかんとすれば羽黑も突張り綾とつたりを試みたがならず羽黑益す猛烈に突張り突出す

前田山（押切り）旭川

突合ひて手四つとなり土俵中央で一呼吸後離れ前田突張つた後左差しとなるや大きく二丁投げを打つこと再度旭よく殘したが前田兩前褌を引くや一氣に行司溜りに押進み旭の耐へる腰を突してその儘押切る

双葉山（送出し）大邱山
男女川（叩込み）靑葉山

打出し六時卅五分、尚二日目の得點は東十三、西十一双方廿四點で同點となつた

けふの天氣　北の風晴れたり曇つたり
きのふの氣溫　最高零下一四度　最低零下三度八

淺春胡同【三三】

工 清定
白崎海紀（繪）

白い靄（2）

「おい！どうしたんだ。」

（親父、拘引されたんぢやないか。）と、口まで出かかつた言葉を、辛うじて嚥み込んだ。

「病氣してるのよ。千ちやんの思ひ思ひだつたら、どう、村崎さん、妬ける？」

ルミが眞向から斬込んで來た。

「馬鹿！そんなんぢやないよ！」

哲也はきびしく突きかへして、百合子が運んで來た熱いコーヒーを、味氣なく啜りながら、おもむろに話題をかへた。

「近頃、寸田さん、ここへ來ないやうぢやないか。」

「とか何とか、まるでその口調、黒田さんの受賣ぢやないの。」

今度は百合子が代つて、まぜつかへした。

「あら、百さんといへば、あたし今日、五馬路の煙草屋へはいつて行くの見たけど…近頃、さつぱり來ないわね。百合ちやん…。」

ルミが割合眞劍な顔をして、百合子に話しかけた。

「おい、その煙草屋つてのは、五馬路の十×番地にあるんぢやないか。」

黒田の黒表紙のノートを思ひ出した哲也は、勢込んで聞いた。

「まあ、まるでお巡さんの戸口調べみたいだ。何番地か知らないけど、あの角の果物と一しよに賣つてる店よ。」

「ふん、しみつたれな百さん…。」

百合子は興味なささうについと眼を外らした。

「おい、耳の痛い男がゐるよ。ここにも、ははは。」

哲也が頭を掻いて見せると、慌ててルミが辯解した。

「まあ、痛いことなんかないわ。だつてあの百さん、千ちやんに氣があるらしいの。お父さんの入院費や、美代ちやんの葬式で、恩を着せておいて…よくある筋ぢやないの。」

と話しながら、ルミは横眼で笑つて、哲也を媚るやうに見返つた。

「ふん、古いよそんなの。サイレント映畫の筋ぢやないか。」

寸田對源作の關係は、もつと根深い所にわだかまつてゐるやうに、哲也には思はれてならなかつた。

「あたし、あの人、頭彩に當籤したなんて嘘ぢやないかしら。何だか恐しい人のやうに思はれてならないわ。あの黒眼鏡の底の眼が…」

百合子は大仰に眉根を寄せた。

窓際に並んだヒヤシンスの香が、室内のぬくもりにむされて、春ちかい甘やかな氣持を漂はせてゐる。

「黒田さん、今頃どうしてゐるかしら。あたしあの人ならきつと立派な手柄を樹てると思ふわ。」

ルミが突然言ひ出した。

（さうだ！黒田のためにも俺は是非この事件を、掘りさげて見せるんだ。）

哲也は立ち上りざま、二人に吐き出すやうに言つた。

「寸田つて男、君らは内地人だと思ひこんでゐるかい？」

四つの大きく瞠つた眼が哲也の口許を瞬きもせずに見上げた。

「だつて…？」

「は、は、は。」

面喰つた二人の様子に、哲也はふと妙な氣持を感じたので、無意味な笑ひにまぎらはしながら、外へ出てしまつた。

哲也は是が非でも、千也子や西口に逢はねばならぬと思つた。

列車發着表

◎大連方面行
△大連行 前二時三十分
△奉天行 六時廿五分
△釜山行 八時
△奉天行 八時卅五分
△大連行 九時三十分
△營口行 十時三十分
△四平街行 十一時三十分
△奉天行 後一時五分
△大連行 一時四十分
△大連行 二時三十分
△大連行 三時廿五分
△四平街行 四時五十分
△釜山行 六時五十分
△四平街行 七時四十分
△大連行 九時四十分
△大連行 十一時十三分
△奉天行 十一時三十分

◎哈爾濱方面行
△哈爾濱行 前三時四十三分
△德惠行 五時十五分
△哈爾濱行 六時三十分
△哈爾濱行 八時十分
△哈爾濱行 九時
△哈爾濱行 後十二時五十三分
△哈爾濱行 三時十五分
△德惠行 五時三十分
△哈爾濱行 七時十分
△哈爾濱行 十時卅五分
△牡丹江行 十一時四十三分

◎圖們方面行
△吉林行 前七時五分
△羅津行 八時卅五分
△圖們行 九時四十五分
△吉林行 後一時
△牡丹江行 三時二十分
△吉林行 七時廿五分
△清津行 十時五分

◎白城子方面行
△白城子行 前八時廿五分
△白城子行 十時五十五分
△前郭旗行 後五時三十分

◎大連方面より
△大連發 前三時卅二分
△奉天發 六時十八分
△大連發 七時四十五分
△四平街發 八時
△四平街發 八時四十六分
△四平街發 九時四十分
△釜山發 十時卅二分
△奉天發 十一時四十二分
△大連發 後十二時三十分
△大連發 三時
△大連發 四時二十分
△營口發 五時二十分
△大連發 六時五十八分
△奉天發 八時二十分
△釜山發 九時廿五分
△奉天發 九時四十五分
△奉天發 十一時三十分

◎哈爾濱方面より
△德惠發 前零時三十分
△哈爾濱發 二時二十分
△牡丹江發 六時五十四分
△哈爾濱發 七時十四分
△德惠發 十一時三十分
△哈爾濱發 後十二時五十分
△哈爾濱發 一時三十分
△哈爾濱發 三時十分
△哈爾濱發 六時四十分
△哈爾濱發 九時三十分
△哈爾濱發 十一時三分

◎圖們方面より
△清津發 前七時五十三分
△吉林發 十一時廿四分
△牡丹江發 後二時十分
△吉林發 五時廿一分
△圖們發 八時四十分
△羅津發 九時三十分
△吉林發 十一時十五分

◎白城子方面より
△前郭旗發 前十一時一分
△白城子發 後六時卅二分
△白城子發 九時五分

大阪商船出帆

門司、神戸行
扶桑丸 一月十五日
吉林丸 一月十七日
うすりい丸 一月十八日
鴨綠丸 一月二十日
熱河丸 一月廿二日
うらる丸 一月廿三日
黒龍丸 一月廿五日
（午前十一時大連出帆）
三角、鹿児島那覇行
大同丸 一月廿五日 午後三時大連發
事務所＝大連、奉天、新京
哈爾濱、牌とビユーローで連絡切符發賣